

GetByMail ユーザーズ マニュアル

<v1.4.1.10 (2006-07)>

ネットツール株式会社

<GetByMail .com>



Table of Contents

[イントロダクション](#) -----3

GetByMail の機能概要、動作環境等に関して記載されています。

[GetByMail の起動](#) ----- 9

GetByMail のインストール、設定内容に関して記載されています。

[コマンド](#) -----32

GetByMail の各種機能の使用方法に関して記載されています。

[スレッド](#) -----38

GetByMail の命令実行内容等に関して記載されています。

[ツール & オプション](#) -----40

GetByMail 内に含まれるツール類に関して記載されています。

[その他](#) -----50

GetByMail 内のその他のメニュー等に関して記載されています。

[ライセンス](#) -----51

著作権、サポート等の情報に関して記載されています。

イントロダクション

GetByMail とは・・・?

GetByMail は、ユニークなアイデアと技術を駆使した、従来のリモート アクセスの代案です。

Email によるリモート アクセス

あなたは自宅にいながら、GetByMail を使用して、オフィスや学校等、リモートサイトにあるコンピュータに、あなたの電子メール アカウントを通して、アクセス件を持つことができます。あなたはリモート側 PC のディレクトリ リスト取得、ディレクトリ ツリー参照、ファイルやディレクトリのダウンロード/アップロード、ディレクトリ変更、作成、名前の変更、削除、リモートコンピュータの画面をキャプチャー 等を実行することができます。ダウンロード/アップロード実行時、ファイルやディレクトリの自動圧縮や分割により信頼性を高める転送方法を実現します。

Email によるファイル共有

GetByMail は、あなたと他の PC を Email を通してファイル共有のユニークな能力をご提供します。GetByMail を使用すれば、FTP や P2P アクセスを意識することなく、煩わしいファイアウォールも意識することなく、簡単、便利にファイル共有機能を入手できます。

簡単なセットアップ

GetByMail は唯一 Email アドレスのみを必要とします。プログラムは簡単にセットアップすることができます。複雑なネットワーク コンフィグレーションは不要、専用の IP アドレスや FTP ソフトウェアも必要ありません。世界的に最も一般的な、インターネット Email (POP3/IMAP/SMTP)、および Microsoft Exchange サーバーの Email コンフィグレーションをサポートしています。

Gmail との互換性

GetByMail は SSL接続を含む、POP3/IMAP/SMTP プロトコルとの互換性を持っています。また、Google社の[Gmail](#)との互換性を有しています。勿論、他のPOP3/IMAP/SMTP によるサービスもご使用いただけます。(無料のEmail サービスでも OKです。)

ファイアウォールも関係なし

従来のリモートアクセスは会社や学校等のファイアウォールにより簡単にブロックされてしまいます。GetByMail なら煩わしいファイアウォール等を気にせずに簡単に接続することができます。

総合的な安全性

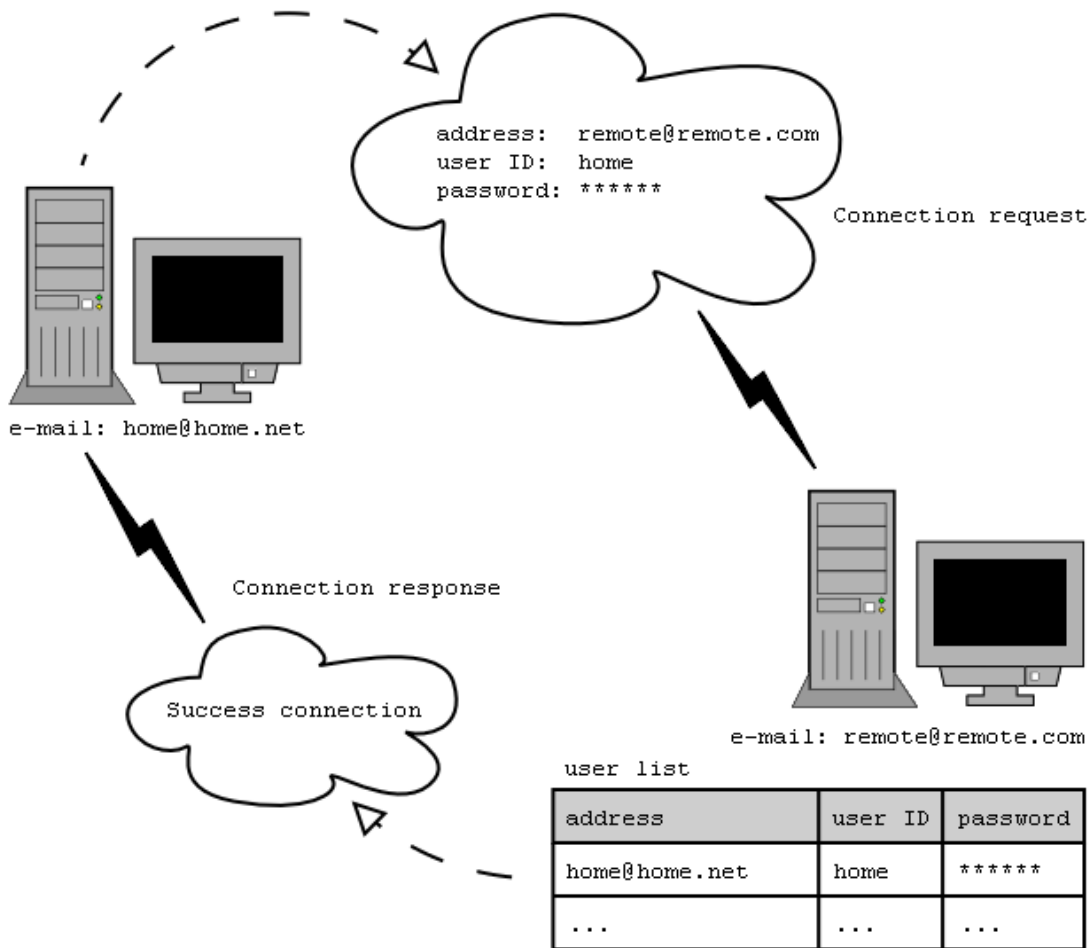
GetByMail はビルトイン セキュリティ機能を持っています。正しい電子メール アドレスが持つセキュリティと、全てのメッセージ、アタッチメント等のデータに対する信頼性の高い暗号化を行いコミュニケーション内容を厳重に守ります。

直感的インターフェース

GetByMail は、ローカル側とリモート側のコンピュータを左右のパネルに分ける、直感的な FTP クライアント のようなインターフェースをご提供します。プログラムは、あなたが他の仕事を実施している時バックグラウンドで動作するマルチスレッドです。

動作概要

GetByMail は、同時にクライアント、および サーバーとして動作します。もしあなたが 2 台のコンピュータを持っていれば、ホーム(ローカル)、およびリモートコンピュータは、それぞれで、ファイルやフォルダーのダウンロード/アップロード等、データを簡単に共有化することができます。



リモート、ホーム コンピュータ間で、接続を確立するための一般的な概要は以下の通りです。

リモートコンピュータ

ホーム(ローカル)コンピュータの Email アドレス、オリジナルの ユーザーID、パスワードを リモートコンピュータのユーザーリストへ追加します。

ホーム コンピュータ

ホームコンピュータは、接続要求を、リモート コンピュータ の Email アドレスへ、自身の Email アドレスと、適当なユーザーID、パスワードとともに送信します。リモート コンピュータは、リモート コンピュータのユーザーリストに保存された内容と照合して、接続の OK、または NG のレスポンスをホームコンピュータへ送信します。(上図をご確認下さい。)

リモート コンピュータは、以下の方法によって、ホームコンピュータからの接続要求内容をチェックします。接続リクエストを送ったオーナーの Email アドレス、ユーザーID、パスワードがリモート コンピュータ上に保存されている ユーザーリストと合致していれば、接続成功のレスポンスを送り返します。合致しなかった場合、ホームコンピュータは、接続エラーのレスポンスを受け取ります。

例えば、リモート コンピュータ ユーザーが、ホームコンピュータへ接続要求を送信して、その接続に成功した場合、リモート コンピュータはクライアントモードで動作し、ホームコンピュータは、サーバーとして動作します。あなたはまず、リモート コンピュータの Email アドレスをオリジナルのユーザーID とパスワードとともに、ホームコンピュータのユーザーリストへ追加します。そして、その後リモートコンピュータ ユーザーは、ホームコンピュータの Email アドレスへ適当なユーザーID とパスワードを付けて接続要求を送信します。

全てのリクエストは信頼性のある、暗号化によって通信プロセスの安全性、信頼性を高めています。

NOTE: GetByMail によって構築する Email ネットワーク 上の PC の台数は無制限に接続して運用できます。

特徴、機能

GetByMail version 1.4 は、以下のような主要機能を提供します。

一般的な動作

- 電子メール アカウントを通じて動作します。
- 1 種類のソフトウェアで、サーバー、クライアントの両機能をご提供します。
- インターネット E-mail (POP3/SMTP) コンフィグレーションをサポートします。
- インターネット E-mail (IMAP/SMTP) コンフィグレーションをサポートします。
- POP3/SMTP SSL 接続をサポートします。
- IMAP/SMTP SSL 接続をサポートします。
- Microsoft Exchange サーバー コンフィグレーションをサポートします。
- システム トレイ モード(タスク トレイで動作)をサポートします。
- システムのスタートアップ時、プログラム起動時 自動接続をサポートします。

機能概要

- 同時に複数のファイル、ディレクトリ をダウンロード/アップロードできます。
- サブディレクトリや多くのファイルを含み、ディレクトリ内全体をダウンロード/アップロードできます。
- ダウンロード/アップロード時、自動圧縮機能をサポートしています。
- ダウンロード/アップロード時、自動ファイル分割、合併機能をサポートしています。
- リモート側 PC のディレクトリ リストを入手できます。
- リモート側 PC のディレクトリ ツリーを参照できます。Get remote directory tree view
- リモート コンピュータのデスクトップ画面を入手できます。
- その他、ディレクトリ変更、ディレクトリ作成、名前の変更、削除を実行できます。
- リモート PC 上でアプリケーションを実行できます。
- リモート PC をシャットダウン、再起動、ログオフできます。
- 選択ファイルを圧縮、送信できます。

- 全体的にマルチスレッドをサポート
- クライアント、サーバー スレッドをコントロールできます。

セキュリティ

- Email アドレス、ユーザーID、パスワードによって認証アクセスをご提供します。
- Anonymous 認証をサポートします。
- 除外するユーザーの Email アドレス を定義できます。
- それぞれの Email アドレスの各ボリューム/フォルダーに対して、どの機能を動作させるのか、詳細にアクセスコントロールがかけられます。
- フォルダエイリアスをサポート
- メッセージ、アタッチメント等、暗号化をサポートしています。

ツール

- セキュリティ マネージャ をビルトイン
- アドレス帳 をビルトイン
- メール クライアントをビルトイン

インターフェース

- メール コンフィグレーション をステップ毎にウィザードにより設定できます。
- FTP クライアントに似た、直感的インターフェースをご提供します。ローカルとリモートコンピュータを左右のウインドウに分けて表示します。
- 以前に実行されたエントリーをレコードします。

履歴

1.4.1.10 (2006-07)

- IMAP/SMTP インターネット E-mail コンフィグレーションをサポート
- IMAP SSL 接続をサポート
- マイナー修正

1.3.1.17 (2006-1)

- GetByMail v.1.3.1.17 日本語版リリース

GetByMail の起動

インストール

GetByMail は、Windows 95/98/NT/2000/XP 上で動作します。特別なハードウェア等は必要ありません。コピー、ダウンロード等のインストールは、テンポラリ ディレクトリを使用して実行されます。インストールは、ウィザードにより実行されます。ウィザードのメッセージに従ってインストールを完了して下さい。(インストール中に表示される 使用許諾契約書を必ずご参照下さい。)

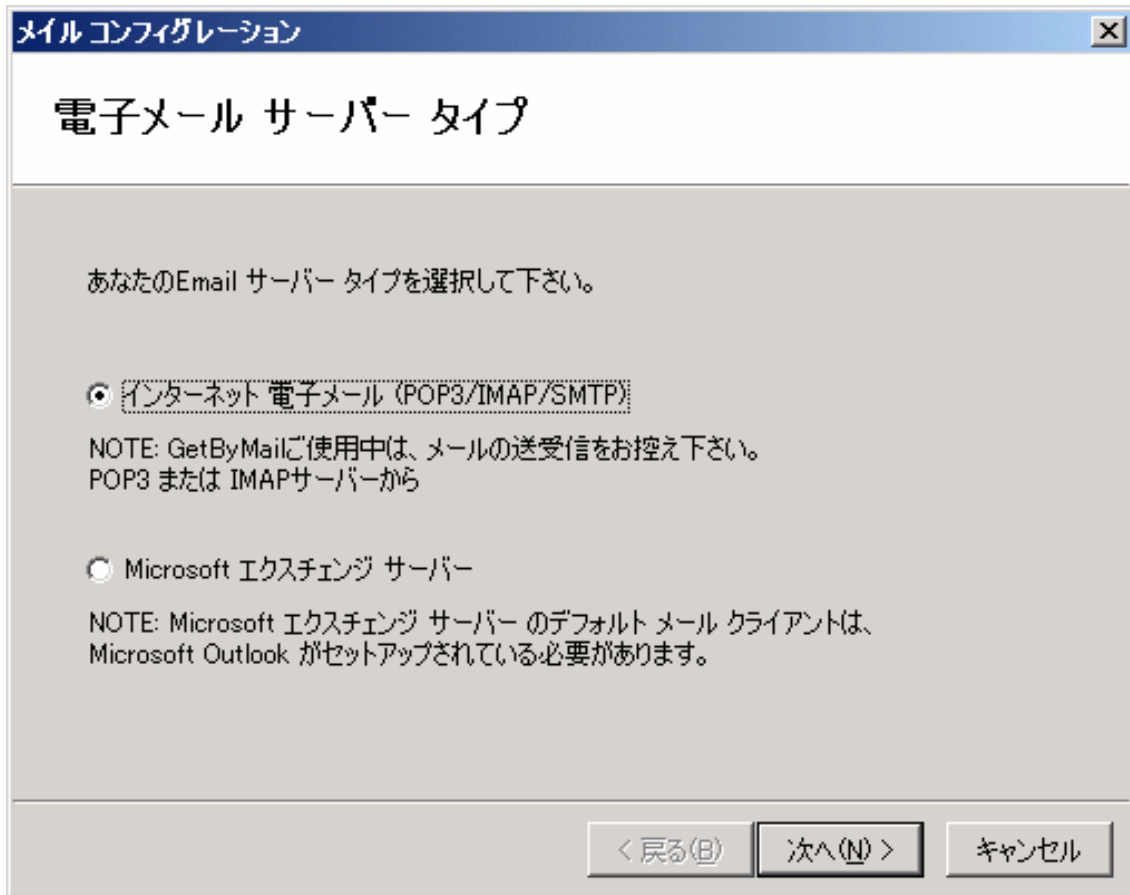
インストールが完了したら、プログラム メニューからプログラムをスタートして下さい。: スタート メニュー -> プログラム -> GetByMail -> GetByMail 1.4

メール コンフィグレーション

電子メール サーバー タイプ

GetByMail を最初に起動した場合、まずメール コンフィグレーションを設定するウィザードから本設定を実行します。

ウィザードの最初のステップは、電子メールのサーバー タイプを選択します。もしもあなたが、通常の POP3/IMAP/SMTP の Email アカウントを使用していれば、インターネット E-mail (POP3/IMAP/SMTP) を選択します。本サーバータイプは最も一般的で、GetByMail のデフォルト設定です。



NOTE: GetByMail を使用している間、あなたの Email クライアント プログラム(Microsoft Outlook Express, Eudora...)を終了しておくことをご推奨します。もしも、これが難しければ、あなたの Email クライアント プログラムが、POP3 または IMAP サーバーからメッセージを削除しないように(コピーをサーバー上に残すように)設定されることをご推奨します。Microsoft Outlook Express の場合、ツール メニュー --> アカウント --> GetByMail で使用するアカウントを選択 --> 詳細設定 --> サーバーにメッセージのコピーを置く のオプションをチェックします。

Microsoft Exchange Server は、あなたの Email が Microsoft Exchange サーバー経由の場合に選択します。

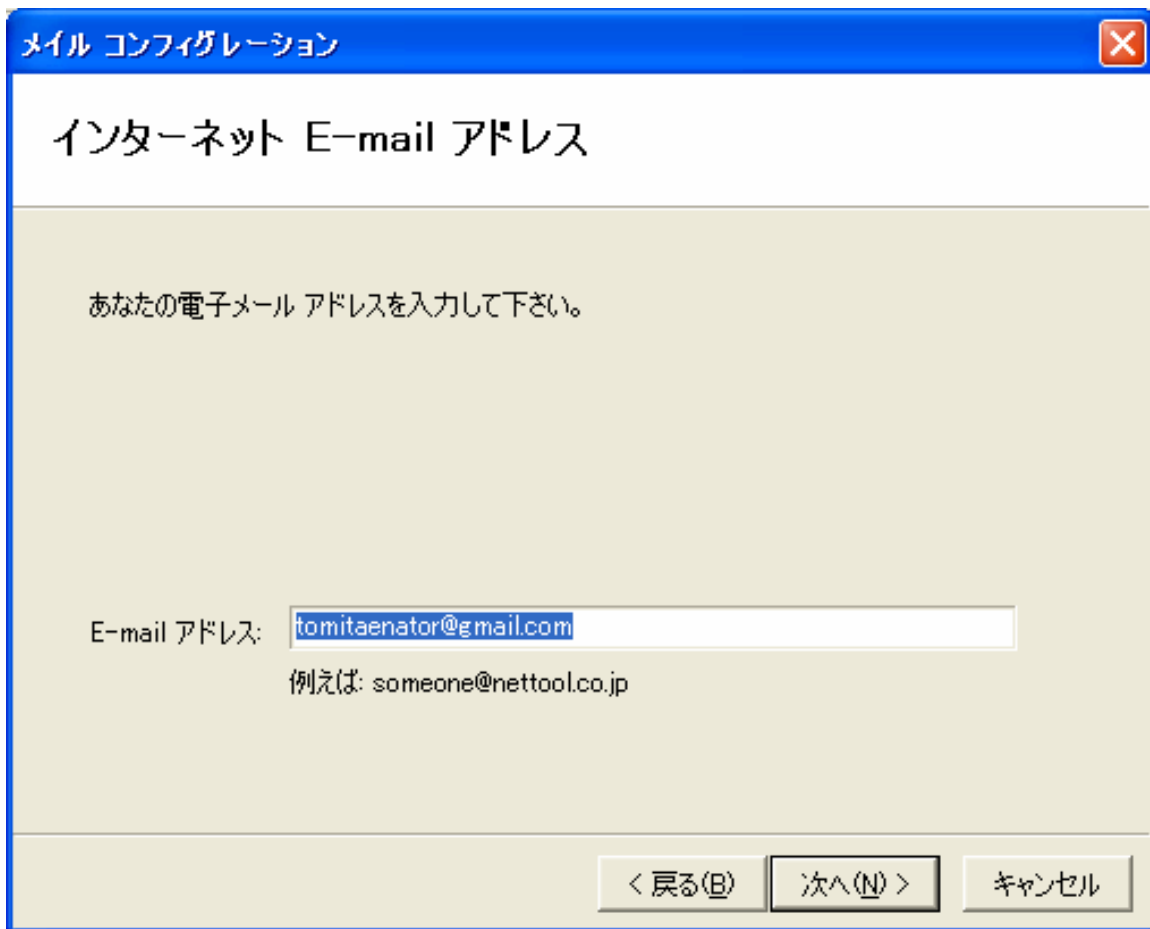
NOTE: Microsoft Outlook (Outlook Express ではなく) がデフォルトとして設定されています。この場合の標準のクライアントは、Outlook XP/2002/2003 で、この設定で GetByMail は動作します。Microsoft Exchange Server を選択した場合は、本セッティングは完了です。次へ ボタンをクリックして次へ進んで下さい。設定の完了の画面 が表示されます。

インターネット Email アドレス

インターネット Email (サーバータイプ)に "Internet E-mail (POP3/IMAP/SMTP)" を選択した場合、以下の内容が続きます。

はじめに、あなたの Email アドレスを入力します。

注意: Email アドレス (Email アカウント) は、各 PC でユニークなアドレスが必要です。
Email アドレスを各 PC で共有することはできません。



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "メール コンフィグレーション" (Mail Configuration) with a close button in the top right corner. The main heading is "インターネット E-mail アドレス" (Internet E-mail Address). Below the heading, the instruction reads "あなたの電子メール アドレスを入力して下さい。" (Please enter your e-mail address.). There is a text input field labeled "E-mail アドレス:" containing the text "tomitaenator@gmail.com". Below the input field, an example is provided: "例えば: someone@nettool.co.jp". At the bottom of the dialog, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel).

電子メール サーバー名

次のステップは、あなたの Email アカウントへログインするために、POP3/IMAP/SMTP サーバー情報をセットアップします。

メール コンフィグレーション

電子メール サーバー名

受信メールサーバーは、 server

受信メール (POP3 または IMAP) サーバー: ポート

本サーバーは SSL によるセキュアな接続を必要とします。

送信メール (SMTP) サーバー: ポート

本サーバーは SSL によるセキュア接続が必要です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

POP3 または IMAP サーバーはあなたの受信 電子メール サーバーです。(デフォルト ポート番号は、POP3 が 110、IMAP は、143) そして、SMTP サーバーは、あなたの送信 電子メール サーバーです。(デフォルト ポート番号 25)

必要があれば POP3 / IMAP / SMTP サーバーそれぞれに、“このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要” を選択します。(Gmail を使用する場合等にオプション設定が必要です。また、ポート番号も、POP3 が 995、SMTP が 465 となります。

IMPORTANT: Gmail をご使用になる場合、あなたの Gmail アカウントの設定 (POP3 / IMAP / SMTP サーバーのアカウント名、パスワード等の設定は忘れずに保管して下さい。)

NOTE: もしもあなたの Email 設定の内容が不確かな場合は、ご契約している ISP にご連絡下さい。または、あなたのデフォルト Email (Outlook Express、Outlook、Eudora 等) の設定をご参照の上、GetByMail の設定を行って下さい。(Email プロウラムの設定内容をそのまま使用して GetByMail を設定できます。)

POP3 または IMAP サーバーへログイン

あなたが ISP から送られたアカウント名とパスワードを入力します。

メール コンフィグレーション

POP3 or IMAP Server Logon

あなたの アカウント名とパスワードを入力して下さい。

アカウント名: yukisanster@gmail.com

パスワード: *****

NOTE: あなたのインターネット プロバイダーがあなたのメールアカウントに対してセキュア パスワード 認証(SPA)を必要とする場合は、チェックボックスをチェックして下さい。

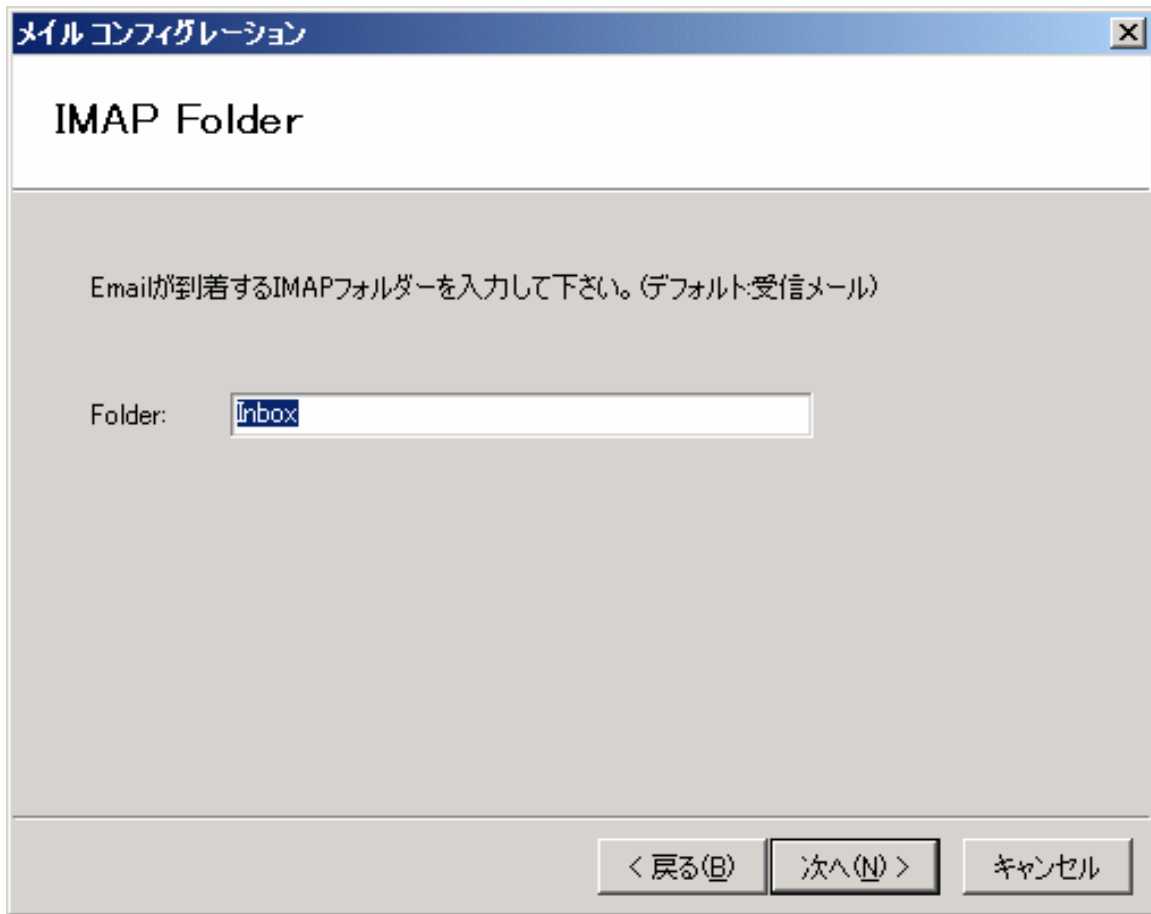
パスワード認証(SPA)を使用してログオン

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

NOTE: もしも契約している ISP が、あなたのメール アカウントに対して、セキュリティーで保護されたパスワード認証(SPA)を要求する場合は、下のチェックボックスをチェックして下さい。

IMAP フォルダー

受信メールサーバーが IMAP サーバーの場合、IMAP フォルダーを指定します。IMAP フォルダーは受信メールが届くフォルダーです。



SMTP サーバー 認証

もしも、あなたの契約している ISP が SMTP サーバー認証を要求する場合は、本画面のチェックボックスをチェックして、関連した詳細情報を入力して下さい。

メール コンフィグレーション

SMTP サーバー 認証

あなたのインターネット プロバイダーがあなたのSMTP
サーバーに対して認証が必要な場合は選択して下さい。
'サーバーは認証が必要' チェックボックスをチェックして詳細を入力して下さい。

サーバーは認証が必要

受信メール サーバーと同じセッティングを使用する。

サーバーへログオン

アカウント名:

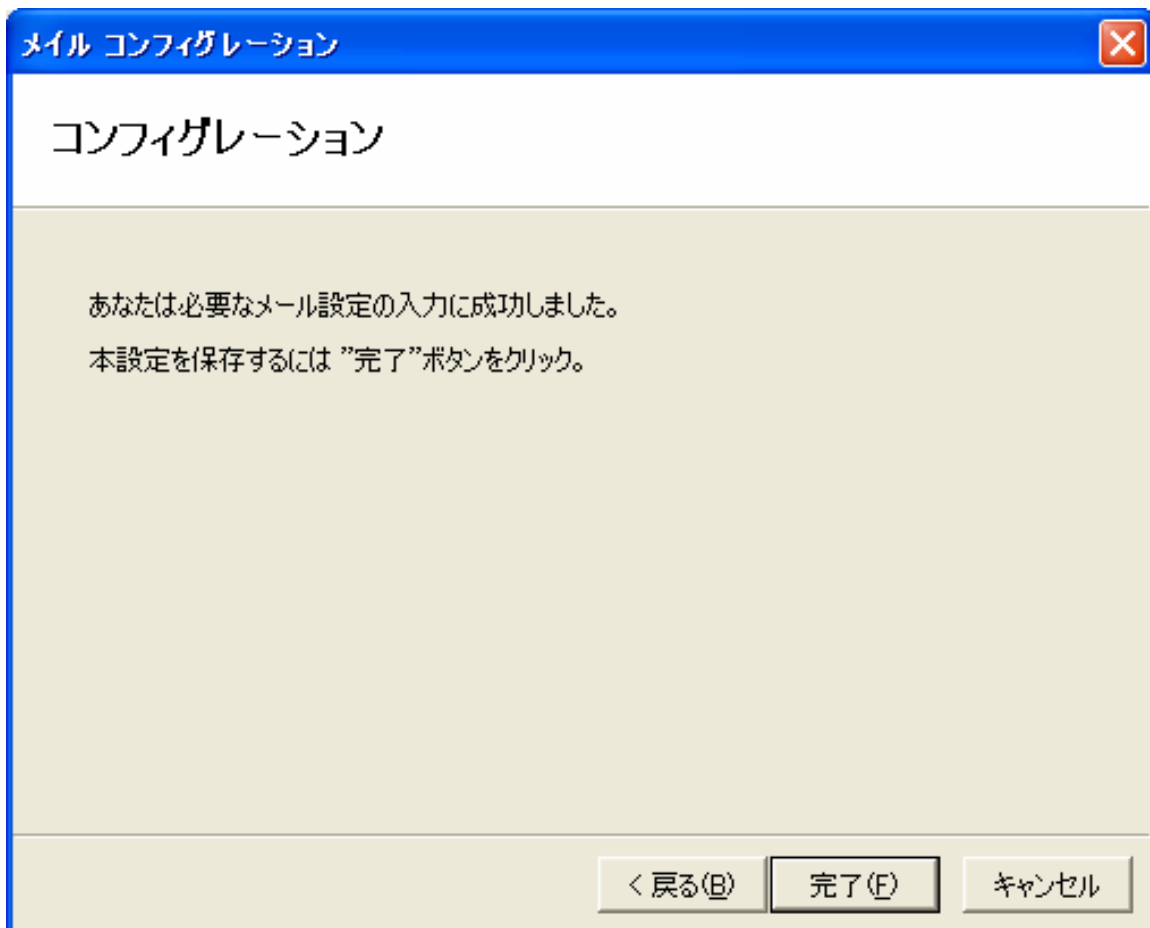
パスワード:

セキュア パスワード認証(SPA)を使用してログオン

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

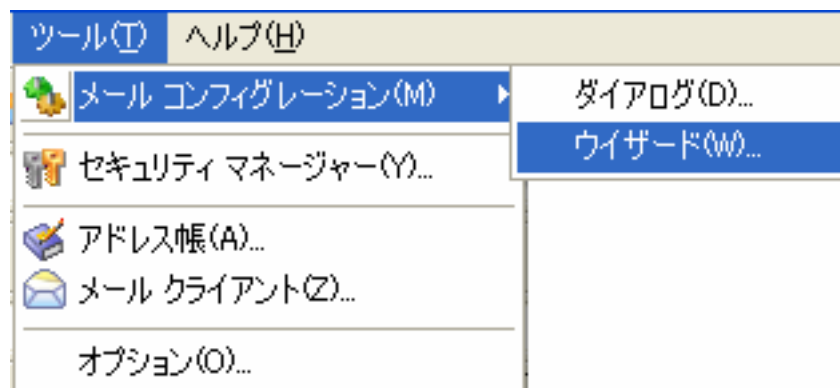
コンフィグレーション スクリーン

メールセッティングの最後に、セッティングの完了を確認する以下の画面が表示されます。

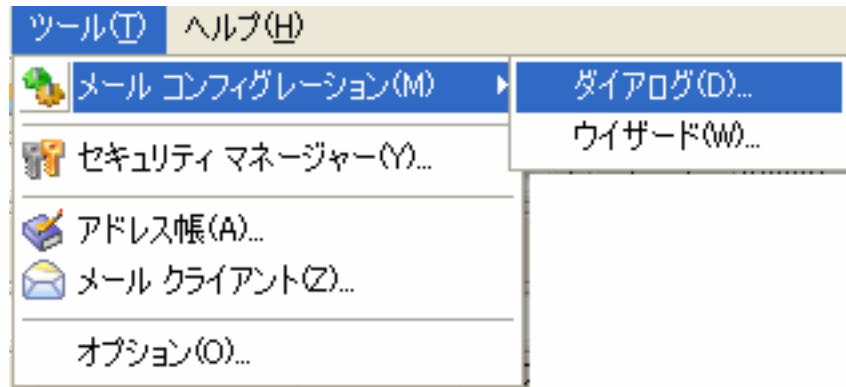


Email コンフィグレーションの更新

もしあなたが Email セッティングを変更したい場合、いつでもウィザードを使用して変更することができます。ウィザードを使用して変更するには、ツール メニュー → メール コンフィグレーション → ウィザードを選択します。



もう一つ、セッティング一覧をダイアログに表示して変更を実行する方法があります。ツール メニュー → メール コンフィグレーション → ダイアログを選択します。



表示されるダイアログ内容は、ウィザードで変更する場合と同様の項目です。

サンプル 1: 一般的な ISP e-mail コンフィレーション

The image shows a 'Mailコンフィグレーション' (Mail Configuration) dialog box. It is divided into sections for server information, email address, and incoming/outgoing mail servers. A sub-dialog box titled '送信メール サーバー' (Outgoing Mail Server) is open, showing options for login information.

Mailコンフィグレーション

サーバー情報

サーバータイプ: インターネット E-mail (POP3/IMAP/SMTP)

電子メール アドレス

電子メール アドレス: test@nettool.co.jp

受信メール サーバー

受信メールサーバーは POP3 サーバー

サーバー名: pop.gmail.com Port: 110

本サーバーはSSL接続を必要とします。

アカウント名: test@nettool.co.jp

パスワード: *****

セキュアな認証パスワード(SPA)を使ってログオン

送信メール サーバー(SMTP)

サーバー名: smtp.gmail.com Port: 25

本サーバーはSSL接続を必要とします。

本サーバーは認証が必要です。 **セッティング...**

送信メール サーバー

ログオン情報

受信メール サーバーと同じセッティング

サーバーへログオン

アカウント名: _____

パスワード: _____

パスワード認証(SPA)によるログオン

OK **キャンセル**

サンプル 2: グーグル Gmail コンフィグレーション

[重要: Gmail アカウントで POPを有効にする方法](#) をご参照下さい。

Mailコンフィグレーション

サーバー情報

サーバータイプ: インターネット E-mail (POP3/IMAP/SMTP)

電子メール アドレス

電子メール アドレス: dammy@gmail.com

受信メール サーバー

受信メールサーバーは POP3 サーバー

サーバー名: pop.gmail.com Port: 995

本サーバーはSSL接続を必要とします。

アカウント名: dammy@gmail.com

パスワード: *****

セキュアな認証パスワード(SPA)を使ってログオン

送信メール サーバー(SMTP)

サーバー名: smtp.gmail.com Port: 465

本サーバーはSSL接続を必要とします。

本サーバーは認証が必要です。 **セッティング...**

送信メール サーバー

ログオン情報

送信メール サーバーと同じセッティング

サーバーへログオン

アカウント名: _____

パスワード: _____

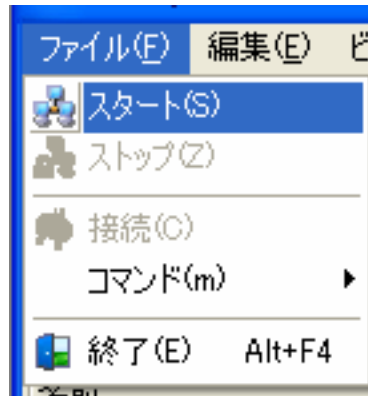
パスワード認証(SPA)によるログオン

OK **キャンセル**

サービスのスタート & ストップ

メール コンフィグレーション プロセスを終了して GetByMail を実行します。

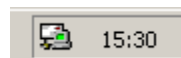
GetByMail をスタートします。ファイル メニュー → スタート



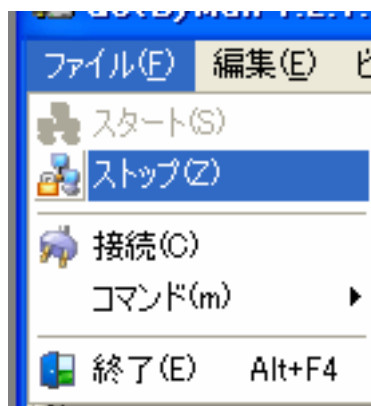
または、以下のアイコンをクリックします。



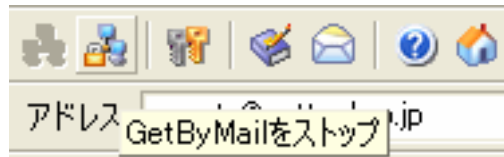
メール設定が適当で、ISP のサーバーが動作していれば、GetByMail はリモート コマンドを受信し、それを送信する準備が完了します。ストップ ボタンがアクティブになり、システムトレイ上のアイコンがグリーンで表示されます。



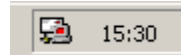
GetByMail のストップは、ファイル メニュー → ストップを選択します。



または、以下の アイコンをクリックします。



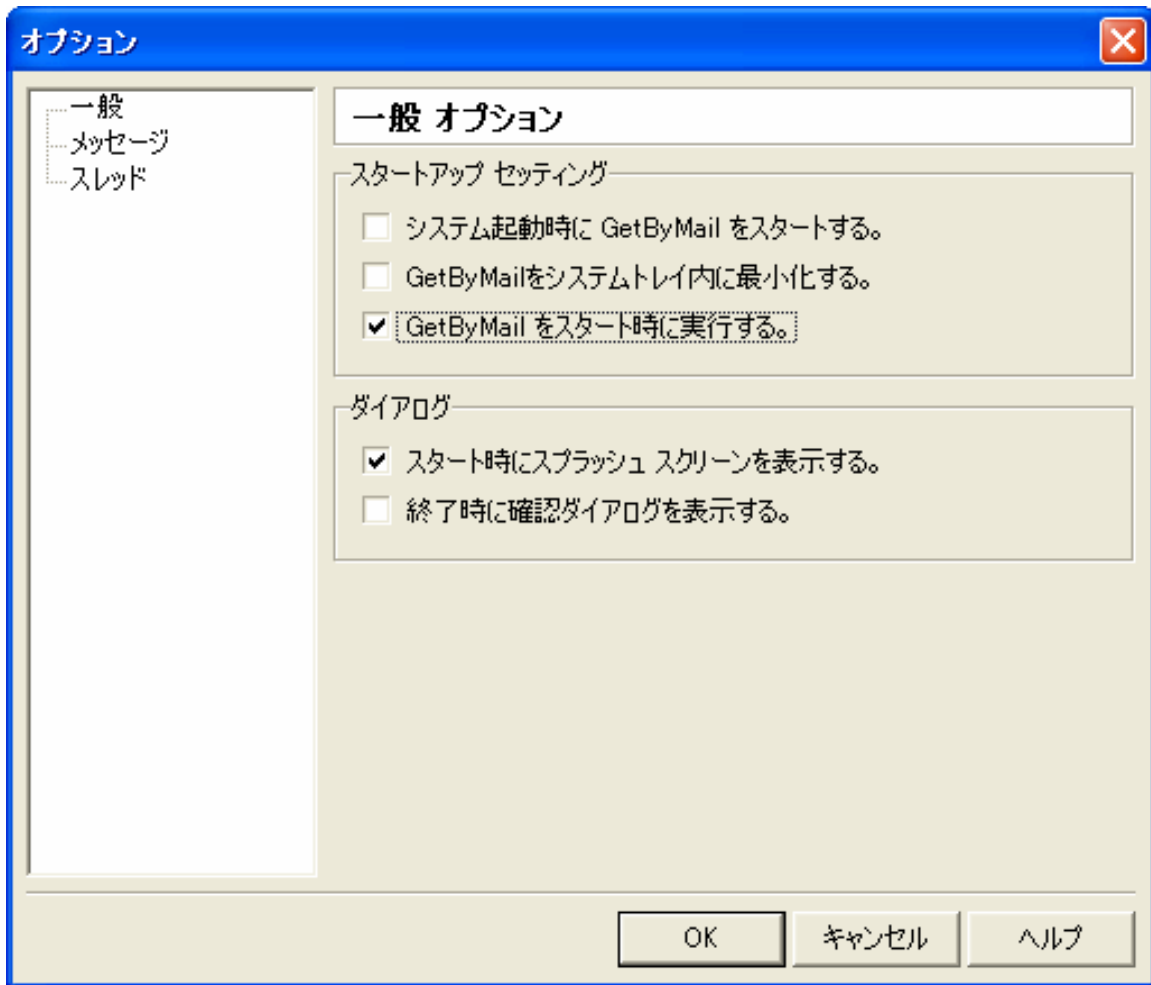
GetByMail をストップすると、スタート アイコンがアクティブになります。また、システム アイコンの表示が赤で表示されます。



GetByMail のスタート、ストップは、システムトレイ メニューからも実行できます。



GetByMail は自動スタートモードを設定することができます。自動スタートモードは、ツール メニュー → オプション → 一般 から設定できます。



接続の確立

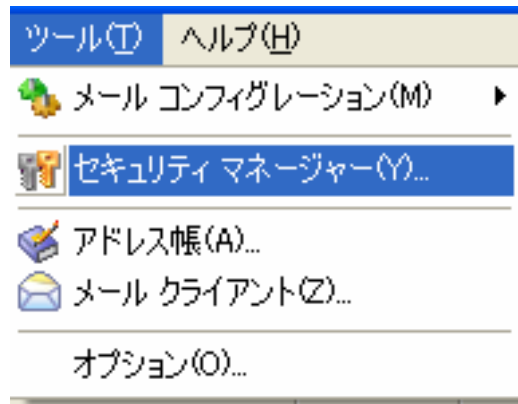
本チャプターは、ローカル(ホーム)とリモート コンピュータ間で接続を確立するために取るべき実践的なステップを記載しています。

重要： 実際にローカル/リモート間で接続を行う前に、セルフ接続テストを実行されると有効です。(詳細は、セルフ接続テストをご参照下さい。)

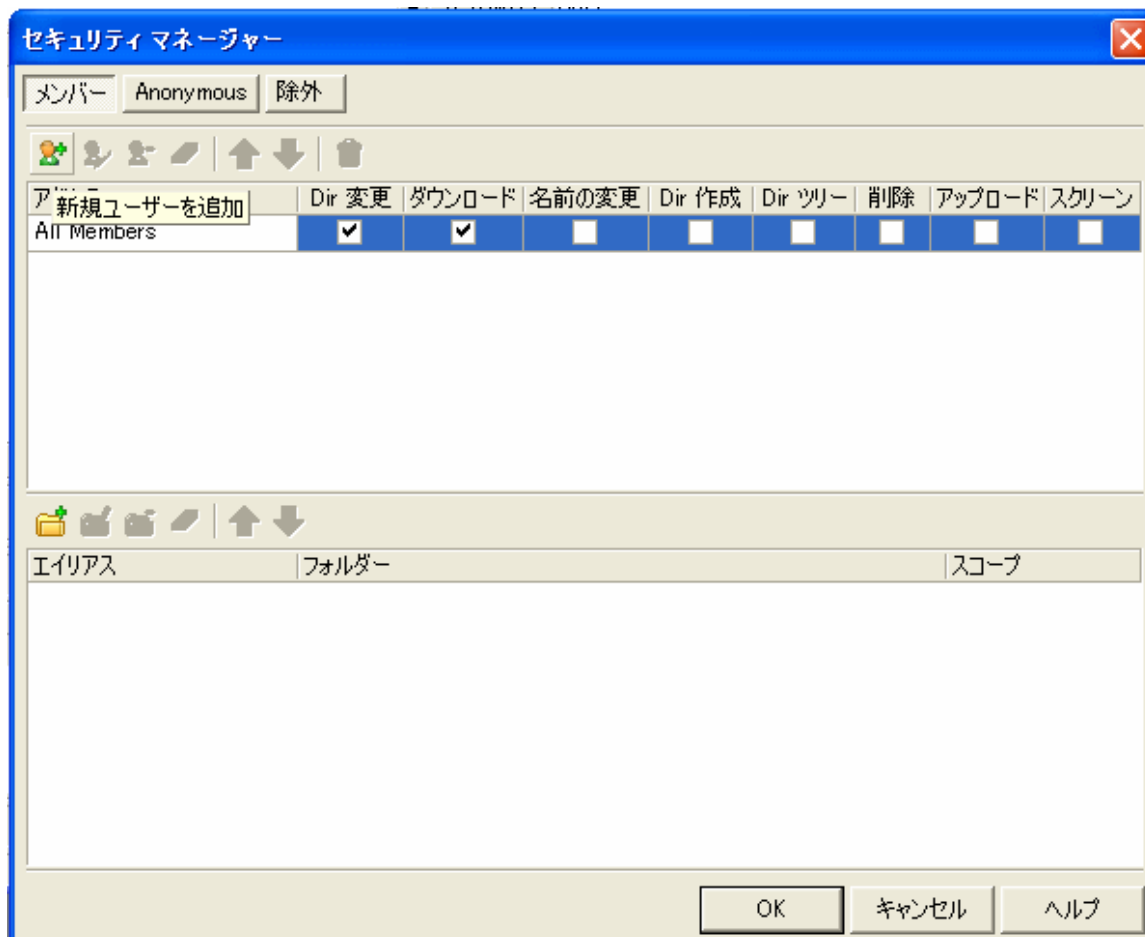
リモート コンピュータ

GetByMail をスタートします。(スタート & ストップ サービスをご参照下さい。)

あなたのローカル(ホーム)コンピュータ の Email アドレスリモート コンピュータ のユーザー リストへ追加します。(ツール メニュー → セキュリティ マネジャー)



ホーム コンピュータ の Email アドレスをメンバーリストに追加するには、セキュリティ マネージャーから、メンバー ボタンを選択して、ユーザーを追加するためのアイコン(+のマークが付いているアイコン)をクリックします。



表示されたダイアログに、あなたのホーム コンピュータの Email アドレス、オリジナルのユーザーID、パスワードを入力します。(ユーザーID とパスワードは、GetByMail 用に設定して、忘れずに保管して下さい。)

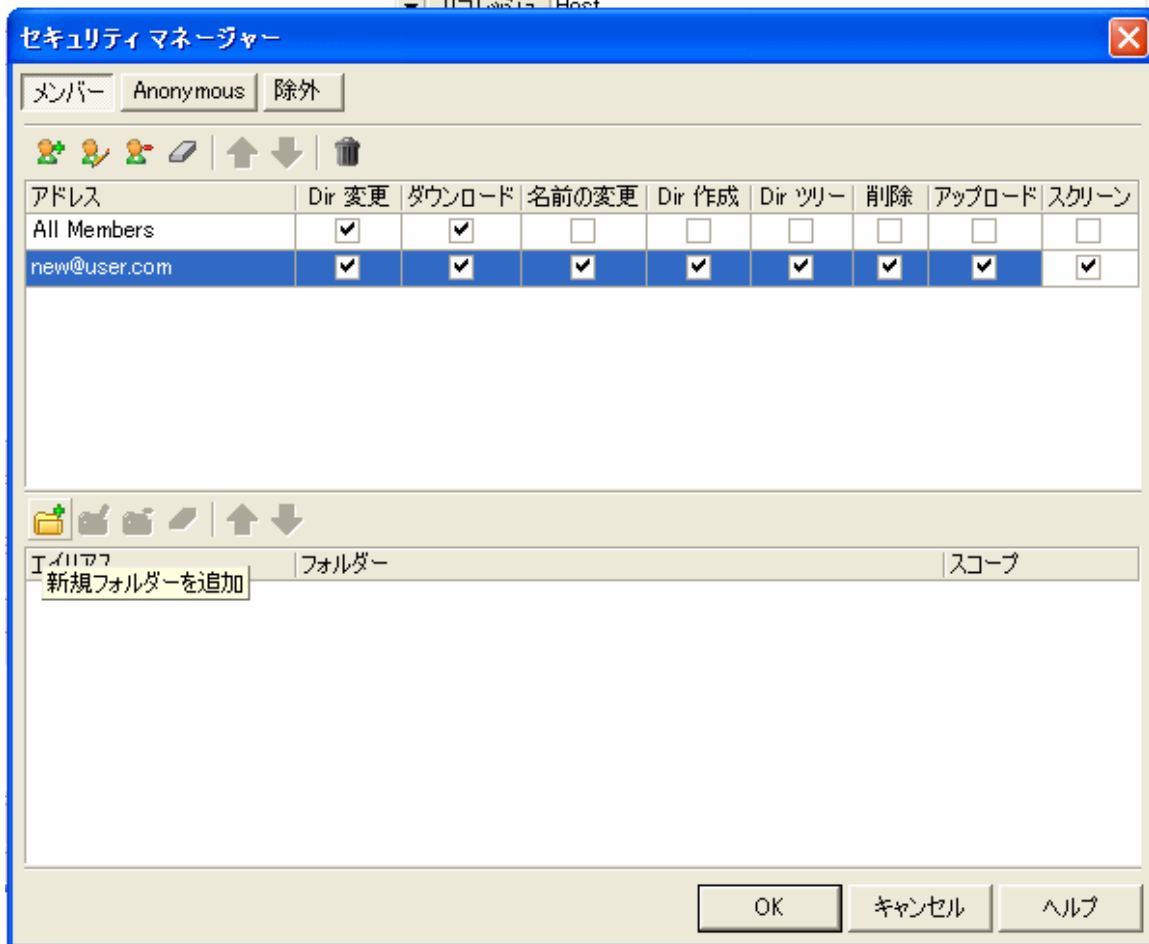


The image shows a Windows-style dialog box titled "新規ユーザー" (New User). It has a blue title bar with a close button (X) on the right. The dialog contains three input fields: "アドレス:" (Address) with the text "new@user.com" entered, "ユーザー ID:" (User ID), and "パスワード:" (Password). At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

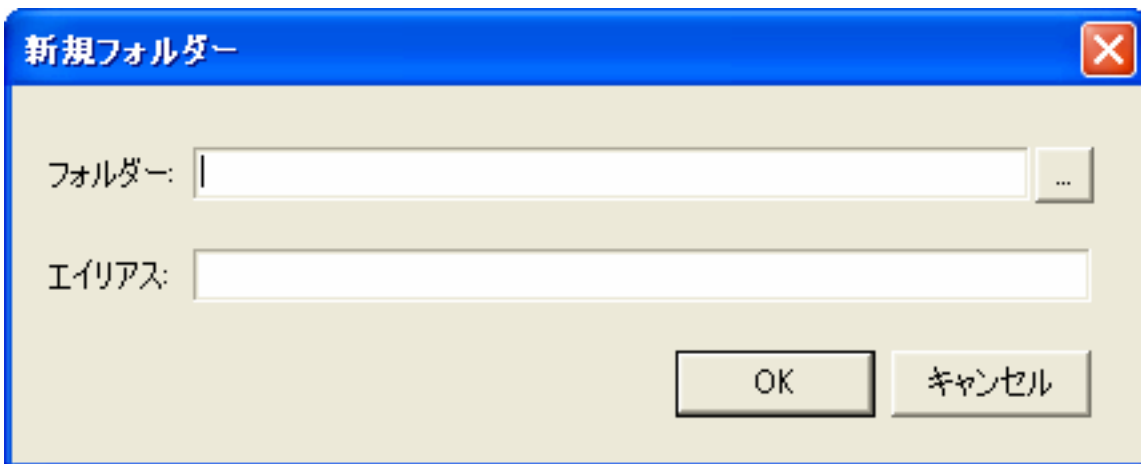
OK ボタンをクリックすると、内容が保存され、メンバーリストにユーザーが追加されます。

デフォルトでは、新規ユーザーは、ディレクトリ変更、ダウンロード コマンドを実行する権利を持ちます。あなたは、ユーザーのアクセス権限を適当に変更することができます。

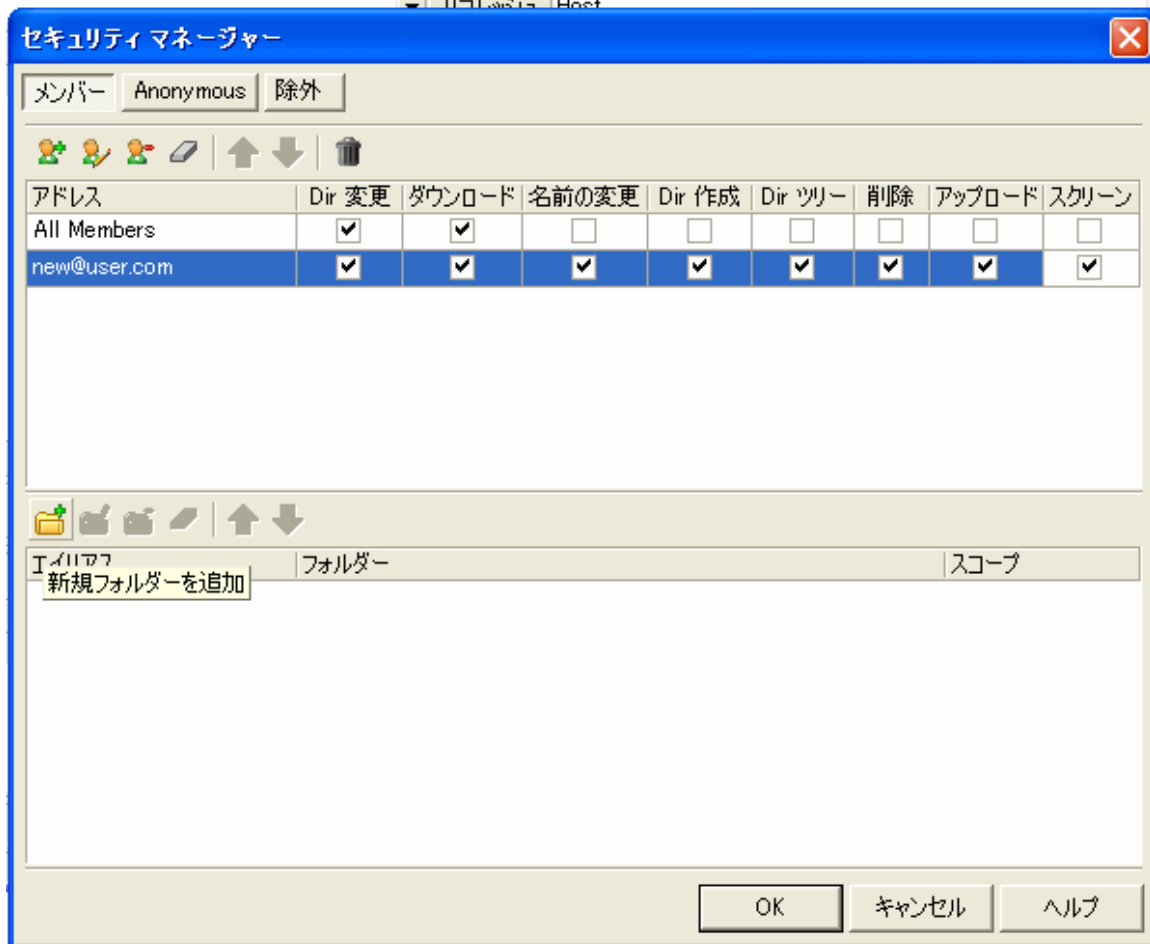
他のホームコンピュータによって使用される、共有するディスク、フォルダーをリモート コンピュータ上に作成することができます。




フォルダーを追加するためのアイコン(フォルダーと+のマークのあるアイコン)をクリックします。ディスク、または フォルダのパスを入力、または ブラウズして選択します。そして、必要があれば、オリジナルのエイリアス(仮称)を入力します。

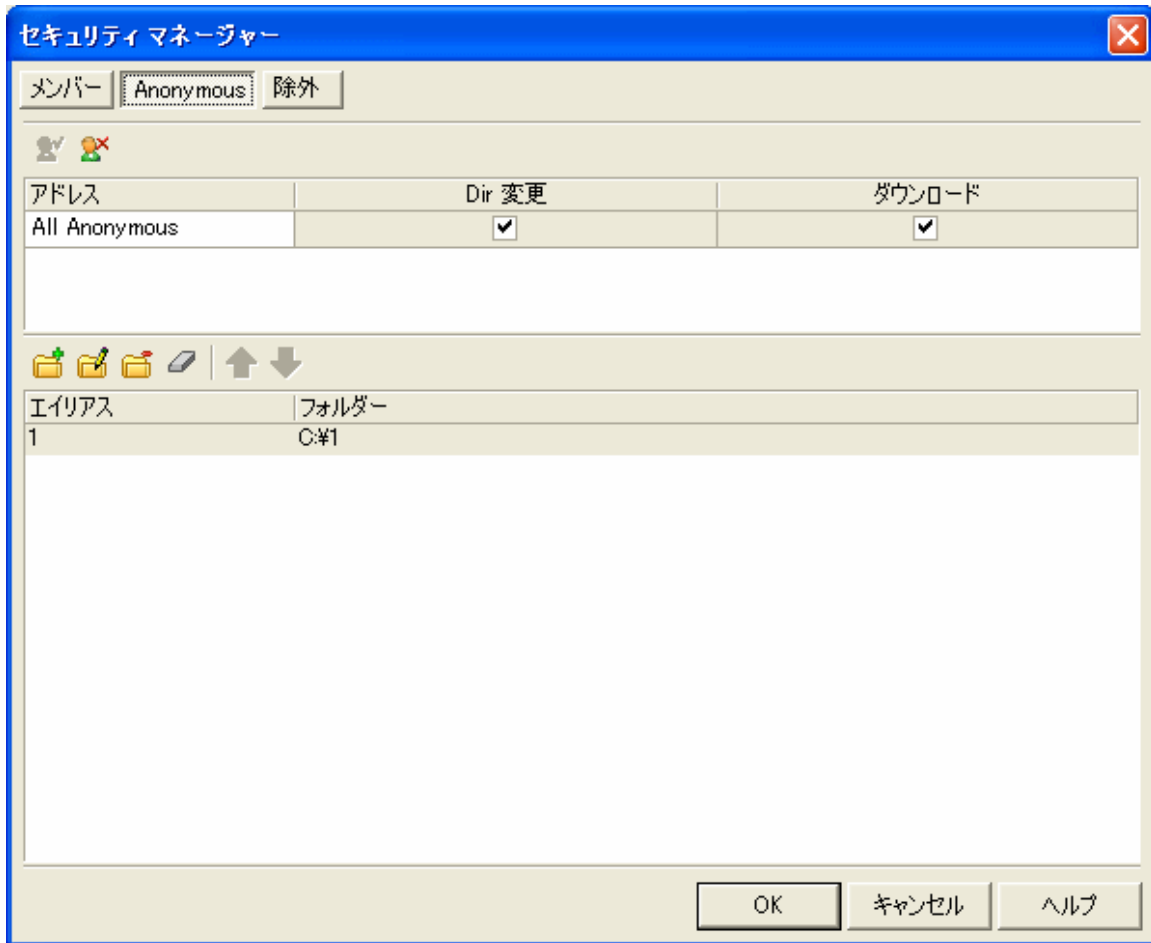


OK をクリックすると新しいフォルダ情報が保存され、リストに追加されます。



GetByMail は、FTP ソフトに似た、anonymous 認証メカニズムも持っています。もし anonymous 認証を有効にすると、メンバー以外でもリモート コンピュータをアクセスできるようになります。

anonymous 認証を有効にするには、Anonymous ボタンを選択して  アイコンをクリックします。



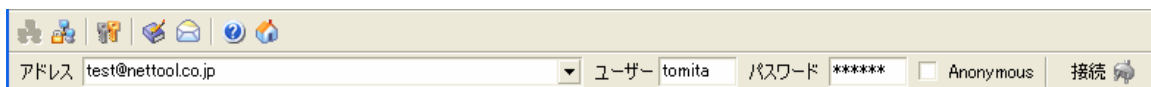
Anonymous ユーザーは、リモート コンピュータ上の共有部分に対して、ディレクトリ変更、ダウンロードのアクセス権を持ちます。あなたは このアクセス権限を編集することができます。さらに anonymous ユーザーにより、リモート コンピュータ上で使用されるパブリックのディスク、またはフォルダーを作成、設定することができます。

このように、電子メール アカウント を通してファイル/フォルダを共有する方法は、かつての方法よりも簡単に設定できます。!

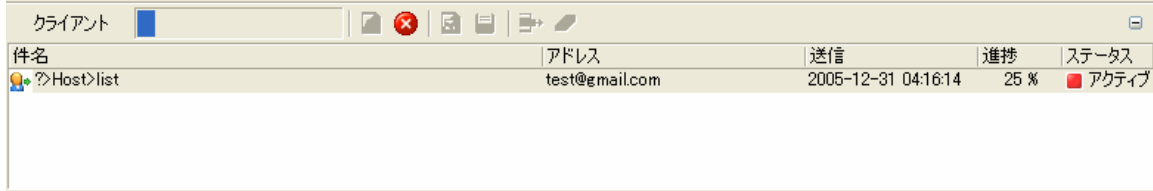
ホーム コンピュータ


GetByMail をスタートします。

あなたのリモート コンピュータの Email アドレスを、GetByMail アドレス フィールドに入力します。そして、ホーム コンピュータ のユーザーID とパスワードを入力します。もし、Anonymous 接続を行う場合は、Anonymous チェックボックスをチェックします。そして、接続ボタンをクリックします。

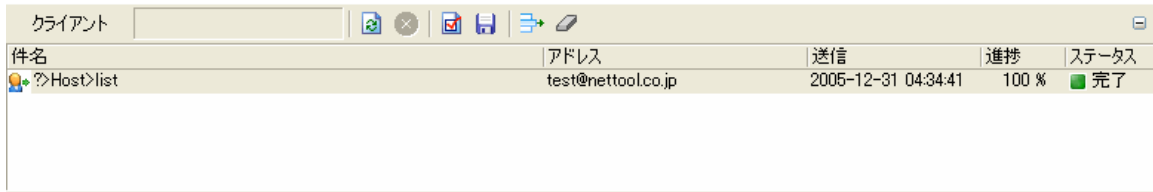


クライアント スレッド リストに新たな接続スレッドが表示されます。

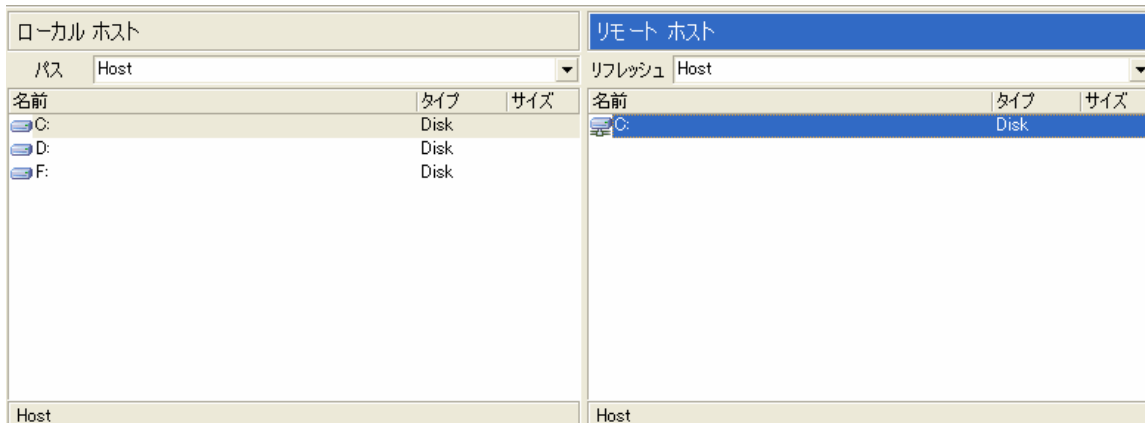


これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される  アイコンをクリックします。

リモート コンピュータのレスポンスを待ちます。リクエストとレスポンスの間にかかる時間は、ホーム / リモート コンピュータのタイプとメールのコンフィグレーションによって変化します。最速接続の場合、1 秒程度 で実行されます。(両サイドが Microsoft Exchange Server のメールコンフィグレーションの場合。) 中速接続の場合、10 秒以下程度で実行されます。(一方が Microsoft Exchange Server メール コンフィグレーション で、もう一方がインターネット E-mail (POP3/IMAP/SMTP) の場合等。) 最後に低速接続の場合、20 秒以下程度で実行されます。(両サイドが、インターネット E-mail (POP3/IMAP/SMTP) コンフィグレーションの場合。) 接続時間は、メール コンフィグレーションだけではなく、一般的なネットワーク機能、Email サーバー、ウイルス駆除アクティビティ等にも関係しますが、十分使用に耐える速度で実行されます。



接続に成功して接続が確率すると、接続スレッドのステータスは、実行中から完了へ変更されます。そしてリモート コンピュータの共有フォルダーは GetByMail メインウインドウの右側のウインドウ内に表示されます。



セルフ接続テスト

あなたは GetByMail をローカルだけでテスト接続することができます。(本テストにはリモートコンピュータは必要ありません。)

注意: Gmail アカウント(サーバー)を利用して GetByMail のセルフ接続テストは実行できません。他の ISP のアカウント(サーバー)をご利用下さい。

あなたは、ローカル コンピュータ上のファイルをローカルコンピュータ上へアップロード/ダウンロードできます。そして全てのオペレーションは、あなたの電子メール アドレスを通して実行されます。本機能は GetByMail のテストや機能、インストールの確認に有効な方法です。

注意: セルフ接続テストは、Gmail アカウントではできません。

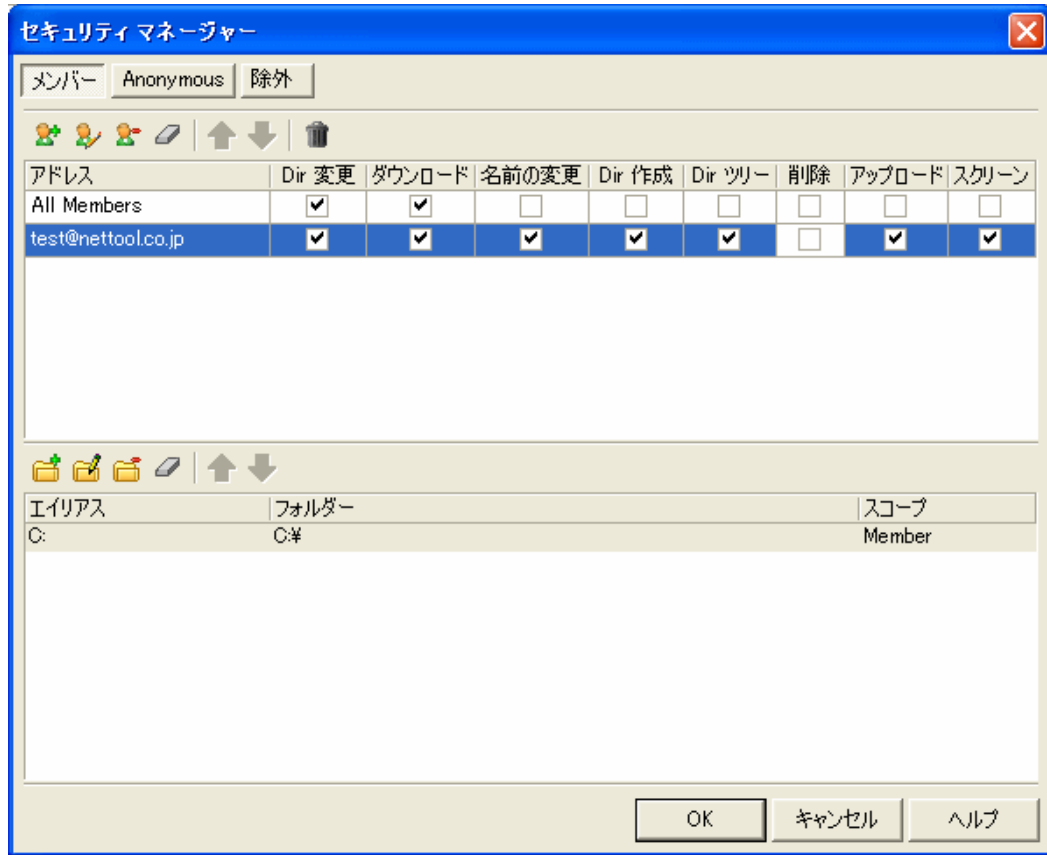
セルフ接続テストを実行は、以下のステップで実行して下さい。

- メールのコन्フィグレーションを設定します。未設定の場合 (メール コन्フィグレーションをご参照下さい。).
- GetByMail をスタートします。(スタート & ストップ サービスをご参照下さい。)

あなたのホームコンピュータは、リモート側のコンピュータでもあることを想像して下さい。

- あなたの Email アドレスをセキュリティ マネージャーから登録します。ツール メニュー → セキュリティ マネージャー ...、ユーザー追加のアイコンをクリックします。そしてあなたの Email アドレスと、オリジナルのユーザーID、パスワードを入力します。(例えば: アドレス = *home@home.net*, ユーザーID = *home*, パスワード = *home* 等のように。) 追加したユーザーは、デフォルトでディレクトリ変更とダウンロードのアクセス権限を持ちます。あなたはさらに追加、消去することにより権限を編集することができます。権限リストの適当な位置をチェック、非チェックして編集して下さい。
- 次にホーム コンピュータ上の共有するいくつかのボリュームやディスクを設定します。メンバーリスト(追加したユーザーが表示されているウインドウの下部)から、新しいフォルダを追加するためのアイコンをクリックして、選択するフォルダ(ドライブ)のパスを入力、またはブラウズして選択し、必要があればエイリアス(仮称)を入力します。(例えば フォルダ = *C:¥User*, エイリアス = *User* 等のように。)

- 設定を完了すると、以下のような画面になります。:



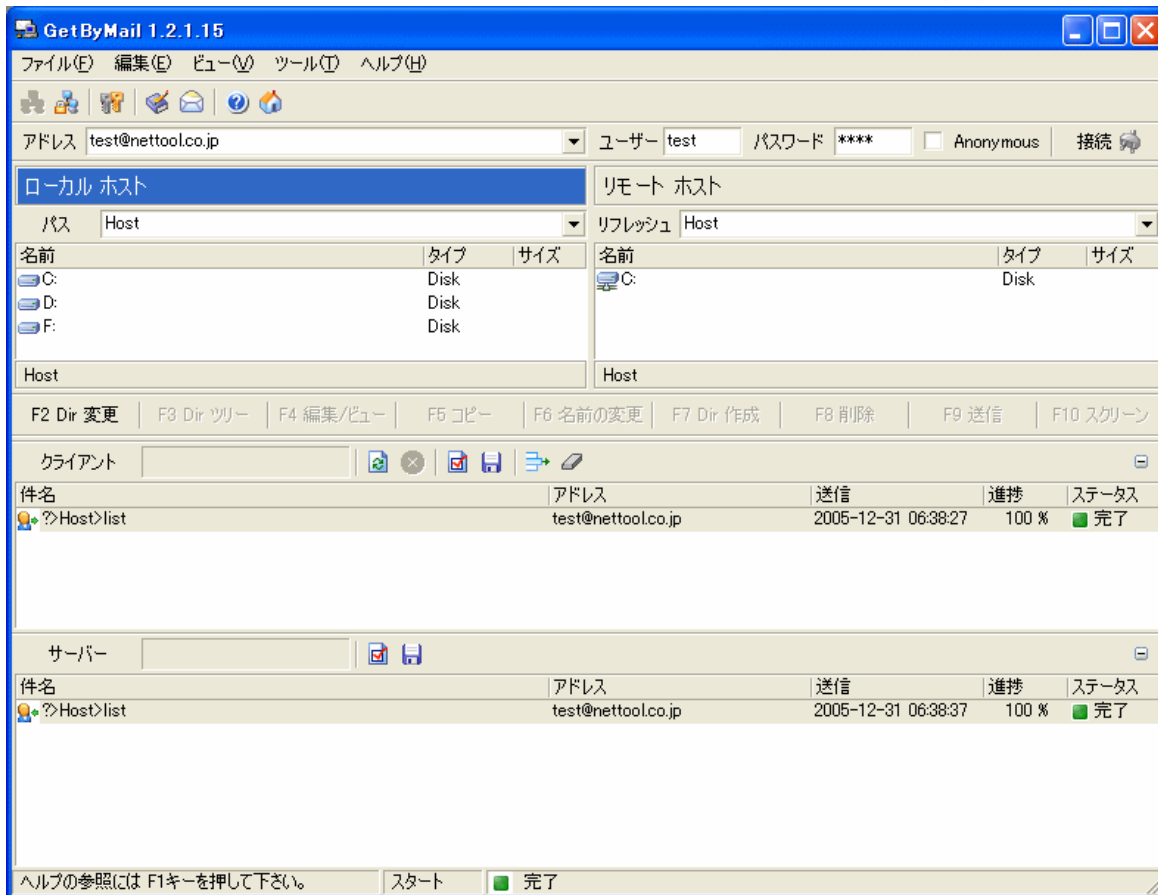
NOTE: セキュリティ マネージャーに関する記述も合わせてご参照下さい。

設定を完了して OK ボタンをクリックすると、“ホーム”に戻ります。:

- 次に、あなたの Email アドレスを GetByMail “アドレス” フィールドへ入力します。(前のサンプルでは、*home@home.net* になります。)さらに、“ユーザー ID” (サンプルの場合は、*home*)と “パスワード” (サンプルの場合は、*home*)を入力し、あなたのホーム コンピュータを仮想リモート コンピュータして、ホールコンピュータへ接続するため、接続 ボタンをクリックします。

新しい クライアント スレッド が リストに作成、表示されます。しばらくすると、新しいサーバスレッドがリストに現われます。レスポンスが帰って来るまで少し時間がかかりますが、スレッドが正

常終了すると、クライアント スレッド リストのステータスが完了に変更されます。



GetByMail を 1 台のローカル コンピュータで、仮想リモート アクセスにより、テスト、確認して下さい。

実際に GetByMail を、ローカル、リモート コンピュータでセットアップする前に、セルフ接続によってテスト、確認することができます。

コマンド

Dir 変更

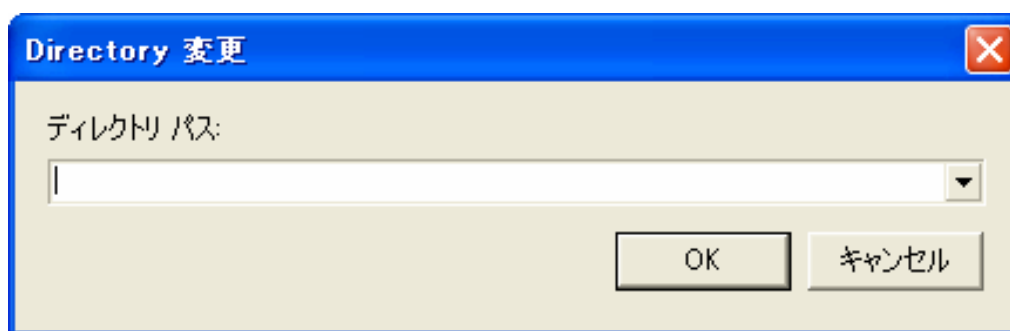
範囲: ローカル(ホーム)、および リモート コンピュータ

ショートカット: F2

説明: ローカル、または リモート コンピュータ上でディレクトリを変更します。

ファイルメニュー → コマンド → Dir 変更、または ポップアップ メニューの Dir 変更、または F2 を選択します。

ディレクトリ パス名を入力して OK をクリックするか、または画面のディレクトリ ツリーから選択します。



もしあなたがリモート側の コンピュータをアクセスした場合、新しいクライアントスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の× のボタンをクリックして下さい。

Dir ツリー

範囲: ローカル、およびリモート コンピュータ

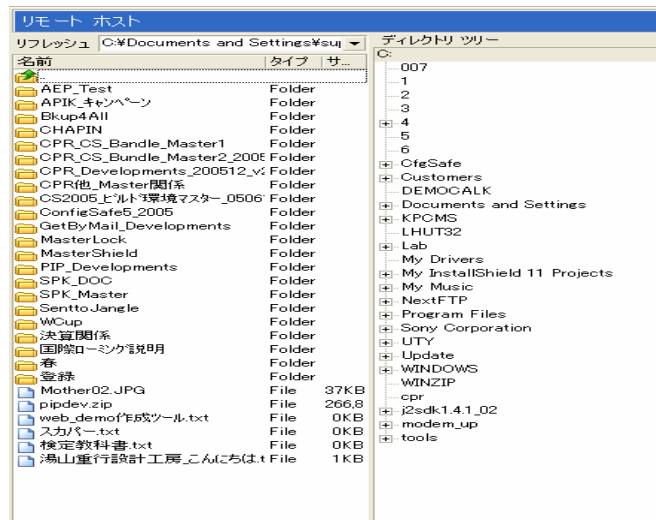
ショートカット: F3

説明: Dir ツリー (ディレクトリ ツリー)コマンドは、現在のディレクトリ ツリーを表示します。ディレクトリ ツリーは、フォルダー間のナビゲーションを高速化します。特に、リモート側の コンピュータをオペレートする場合に有効です。

現在のディレクトリ ツリーを表示するには、ファイル メニュー → コマンド → Dir ツリーを選択するか、ポップアップ メニューの Dir ツリー、または F3 を選択します。

もしあなたがリモート側のコンピュータをオペレートする場合、新たなスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の× のボタンをクリックして下さい。

あなたが、ローカル、または リモート コンピュータのディレクトリ ツリーを参照する際、表示したいフォルダをダブルクリックして表示することもできます。



NOTE: ディレクトリ ツリー は、参照したいフォルダーを入力(選択)し、そこから下のツリーを表示することもできます。

編集/ビュー

範囲: ローカル コンピュータ

ショートカット: F4

説明: 参照/ビュー コマンドは、選択したファイルを Microsoft Notepad 等のテキスト エディターで参照、編集できます。

参照/ビュー コマンドの実行は、まず ファイルを選択します。そして ファイル メニュー -> コマンド -> 編集/ビュー を、または ポップアップ メニューの編集/ビュー か、F4 を選択します。

コピー

範囲: ローカル、およびリモート コンピュータ

ショートカット: F5

説明: コピー コマンドは、ファイル、ディレクトリーのアップロード(ローカル コンピュータからリモート コンピュータ)またはダウンロード(リモートコンピュータからローカルコンピュータ)を実行します。

アップロード/ダウンロードの実行には、まず、対象のファイルおよびディレクトリ(ローカルおよびリモート)を選択します。(コピー元とコピー先を選択します。)

そして ファイル メニューから -> コマンド -> コピー を選択します。または、ポップアップ メニューのコピーを選択するか、F5 を降下します。

新たにアップロード/ダウンロード スレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の×のボタンをクリックして下さい。

名前の変更

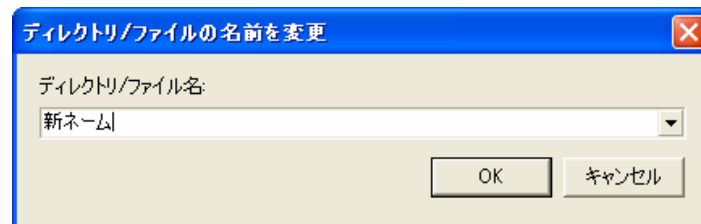
範囲: ローカル、および リモート コンピュータ

ショートカット: F6

説明: 名前の変更 コマンドは、ローカル、リモート コンピュータ上のファイル/フォルダの名前を変更します。

ファイル/フォルダの名前の変更は、ファイル メニュー → コマンド → 名前の変更を選択、または ポップアップ メニューの名前の変更を、または、F6 を選択します。

変更するファイル/フォルダ名を入力して OK をクリックします。



範囲: ローカル、および リモート コンピュータ

ショートカット: F6

説明: 名前の変更 コマンドは、ローカル、リモート コンピュータ上のファイル/フォルダの名前を変更します。

ファイル/フォルダの名前の変更は、ファイル メニュー → コマンド → 名前の変更を選択、または ポップアップ メニューの名前の変更を、または、F6 を選択します。

変更するファイル/フォルダ名を入力して OK をクリックします。

もしあなたがリモート側のコンピュータをオペレートする場合、新たなスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の×のボタンをクリックして下さい。

Dir 作成

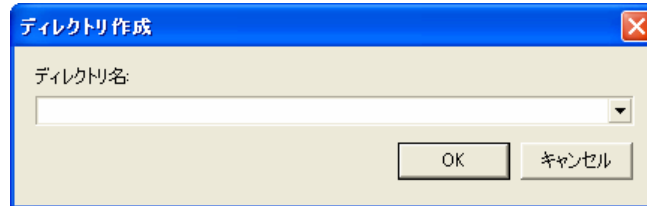
範囲: ローカル、および リモート コンピュータ

ショートカット: F7

説明: Dir 作成 コマンドは、ローカル、リモート コンピュータ上にディレクトリを作成します。

ディレクトリを作成するには、ファイル メニュー → コマンド → Dir 作成を選択します。または ポップアップ メニューの Dir 作成 か F7 を選択します。

新しく作成するディレクトリ名を入力し、OK をクリックします。



もしあなたがリモート側のコンピュータをオペレートする場合、新たなスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の× のボタンをクリックして下さい。

削除

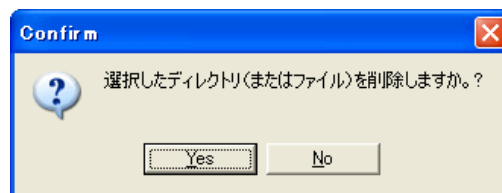
範囲: ローカル、およびリモート コンピュータ

ショートカット: F8

説明: 削除コマンドは、ローカル、リモート コンピュータ上の不必要なファイルやフォルダを削除します。

本コマンドの実行には、不必要なファイル、またはフォルダを選択します。そして、ファイル メニュー → コマンド → 削除 を選択するか、ポップアップ メニューから 削除 を、または F8 を選択します。

以下の画面で OK を選択すると削除処理が継続されます。



もしあなたがリモート コンピュータ側をアクセスした場合、新たなスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の× のボタンをクリックして下さい。

送信


範囲: ローカル コンピュータ

ショートカット: F9

説明: 送信コマンドは、ローカルコンピュータから選択したファイルを送信します。

実行は、まず、対象のファイルを選択します。次にファイルメニュー → コマンド → 送信 を選択するか、ポップアップメニューから送信を、または、F9 を選択します。

メールクライアントの新規のメッセージを入力する画面が表示されます。

メッセージはデフォルトでリモートコンピュータの Email アドレスとローカルコンピュータのユーザーID が付加されます。選択したファイルは自動的に添付され、メッセージを入力して  アイコンをクリックするとメッセージが送信されます。

NOTE: メッセージ送信時、添付されたファイルは自動的に圧縮されて送信されます。

スクリーン

範囲: リモートコンピュータ

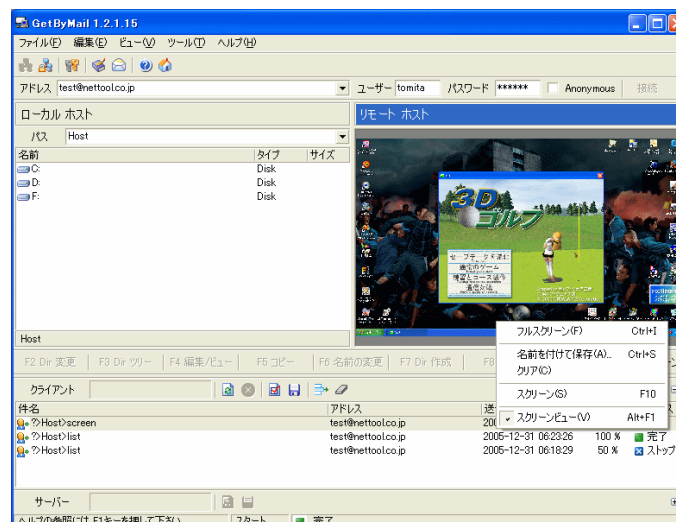
ショートカット: F10

説明: スクリーン コマンドは、リモートコンピュータのデスクトップスクリーンを取得します。

リモートコンピュータのスクリーンを入手するには、ファイルメニューから → コマンド → スクリーンを選択します。または ポップアップメニューのスクリーン、または F10 を選択します。

リモートコンピュータ用のビュー(画面右側)は自動的にリモートコンピュータのスクリーンビューに変更されます。また、リストビューに戻る場合は、マウスを右クリックしてスクリーンビューのチェックを解除するか、ビューメニューのスクリーンビューを解除して下さい。

もしあなたがリモート側のコンピュータをオペレートする場合、新たなスレッドが作成されます。これをストップさせるには、クライアントスレッドのログが表示されるウインドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の×のボタンをクリックして下さい。リモートコンピュータ画面を取得、表示した後、これをダブルクリックすると、画面をズームアップ、ズームアウトすることができます。スクリーンイメージを保存するには、マウスを右クリックして、ファイル名を設定して保存して下さい。



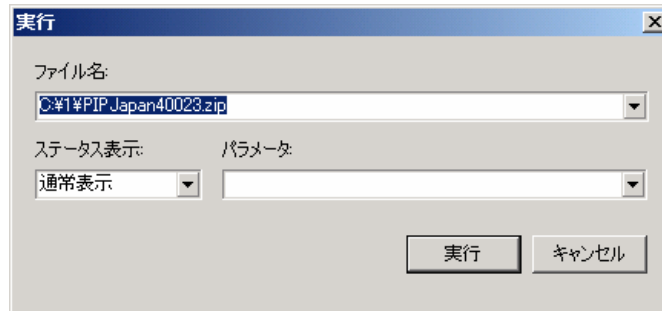
実行

範囲: ローカル、および リモート コンピュータ

説明: “実行” コマンドは、ローカル、またはリモートコンピュータ上でアプリケーションを実行させるためのコマンドです。

実行形式ファイルの場合、ファイルをダブルクリックするか、実行するファイルを選択してから、ファイル→コマンド→実行 を選択します。オプションを選択するためのポップアップ メニューが表示されます。

実行させるファイルを選択、または入力し、実行ボタンを選択します。



“実行” ダイアログ オプション:

- ・ステータス表示 - アプリケーションが開始時の表示方法を定義します。
- ・パラメータ - アプリケーションに伴うパラメータを定義します。

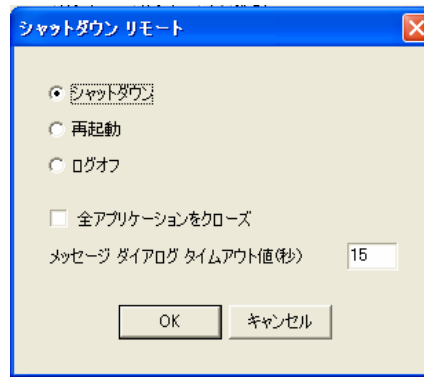
リモート PC 上でアプリケーションを実行させると、新しいクライアント スレッドが作成されます。何らかの理由(トラブル等)でクライアント スレッドをターミネートさせる場合は、スレッド ストップ ボタン(×印の赤いボタン)をクリックして下さい。スレッドはクライアント スレッドはキャンセルされます。

シャットダウン

範囲: ローカル、およびリモート コンピュータ

シャットダウン操作は、ファイル→コマンド→シャットダウン... を選択します。シャットダウンのオプションを選択するためのポップアップ メニューが表示されます。

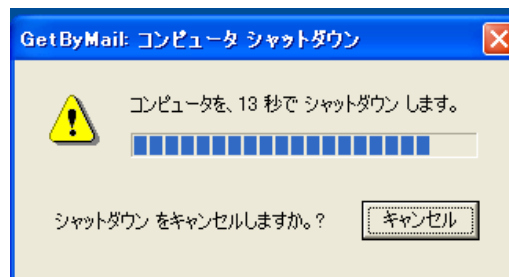
シャットダウン、または再起動、ログオフのいずれかを選択して “OK” をクリックします。



さらに、以下のオプションを変更することができます。:

- ・実行中の全アプリケーションをクローズする。
- ・メッセージダイアログのタイムアウト値(秒)の変更(シャットダウン、再起動、ログオフを実行れるまでの時間)

本メッセージダイアログは、シャットダウン、再起動、ログオフの実行前に、ユーザーがこれをキャンセルすることができるオプションを提供します。



何らかの理由(トラブル等)により、作成したクライアントスレッドをターミネートさせる場合は、“スレッドストップ”ボタン(×印の赤いボタン)をクリックして下さい。クライアントスレッドがキャンセルされ、処理を中断します。



スレッド

クライアント スレッド

リモート コンピュータ上で新しいコマンドが実行されると新たなクライアント スレッドが作成され、クライアント スレッド リストに追加されます。新たなクライアント スレッドは 以下の 4 種類のステータスの中のいずれかで表示されます。(アクティブ、完了、ストップ、エラー)


スレッドがアクティブ状態の時、そのスレッドだけがアクティブとなり、他のスレッド は停止します。

クライアント	件名	アドレス	送信	進捗	ステータス
	👤 ?C#\Documents and Settings>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:47:38	50 %	🔴 アクティブ
	👤 ?C>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:46:46	100 %	🟢 完了
	👤 ?C>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:46:09	50 %	🔴 ストップ
	👤 ?Host>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:45:38	100 %	🟢 完了
	👤 ?Host>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:45:06	50 %	🔴 エラー

実行中のスレッドをキャンセルするには、クライアントスレッドのログが表示されるウィンドウに表示される(コマンドが実行中の時のみ表示される)赤色の×のボタンをクリックして下さい。クライアント スレッド ログに、ストップ 表示されます。そして、また新たなコマンドを入力することができるようになります。また、クライアント スレッド ログ リストに表示された中から、スレッドを選択して、このウィンドウ上のをクリックすると、選択されたスレッドがリフレッシュされて、再実行されます。

件名	アドレス	送信	進捗	ステータス
?\C#\Documents and Settings>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:47:38	50 %	アクティブ
?\C>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:46:46	100 %	完了
?\C>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:46:09	50 %	ストップ
?\Host>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:45:38	100 %	完了
?\Host>list	yukisanster@gmail.com	2005-12-31 03:45:06	50 %	エラー

コマンドの実行が成功したスレッドには、完了と表示され、リモートコンピュータ用のウィンドウはリフレッシュされ、コマンド実行結果を表示します。もしも、コマンド実行に失敗した場合、エラーと表示され、エラーメッセージが表示されます。

さらに全てのクライアント スレッドは参照可能なステータス プロパティを持っています。: コマンドの内容、リモート コンピュータ アドレス、送信 日付/時間、そして進捗状況を示すパーセンテージです。選択したスレッドをダブルクリック、またはボタンをクリックするとさらに詳しいスレッド情報を参照できます。

Client Thread プロパティ ✖

スレッド ID:

スレッド ステータス:

スレッド日付:

ソース パス:


宛先 パス:



アクション:

アドレス:

件名:


テキスト:

*.log ファイルへ、クライアント スレッド 履歴を保存するには  ボタンをクリックします。


クライアント スレッドをこのリストから削除する場合、削除するスレッドを選択して、 ボタンをクリックします。全てのスレッドを削除する場合は、 ボタンをクリックして下さい。

サーバー スレッド

リモートユーザーによって、あなたのローカルコンピュータに対するアクセスによってサーバースレッドが発生し、サーバースレッド リストに登録されます。

特定のサーバースレッドをダブルクリックするか、サーバースレッドを選択して  アイコンをクリックすると、そのスレッドの詳細を参照することができます。

サーバースレッドの履歴を保存する場合、

 アイコンをクリックします。スレッド履歴は、エクステンションが LOG のファイルで保存されます。


NOTE: あなたは、サーバースレッドを終了、クリア、消去できません。

ツール & オプション


セキュリティ マネージャー

セキュリティ マネージャーは、GetByMail のリモート ユーザーの設定を実行します。

セキュリティ マネージャーの起動は、ツール メニュー -> セキュリティ マネージャー、または


 アイコンをクリックします。セキュリティ マネージャーは、メンバー用ページと、除外ユーザー用の 2 つのページからできています。


メンバー


リモートユーザーの追加するには、メンバー ボタンを選択し、メンバーリストが表示されている状態で  アイコンをクリックします。そして追加するユーザーの電子メール アドレスとオリジナルで設定する ユーザーID とパスワードを入力します。





メンバーは、あなたのホーム コンピュータ上で、許可されたコマンドを実行することができます。デフォルトで新しく登録したユーザーは、メンバーで設定したコマンド実行権(コマンドを実行する権利)を受け継ぎます。コマンド実行権の許可と取消は、該当する権利の下のチェックボックスをチェック、または 非チェックにします。


メンバーのプロパティを編集するには、 アイコンをクリックします。

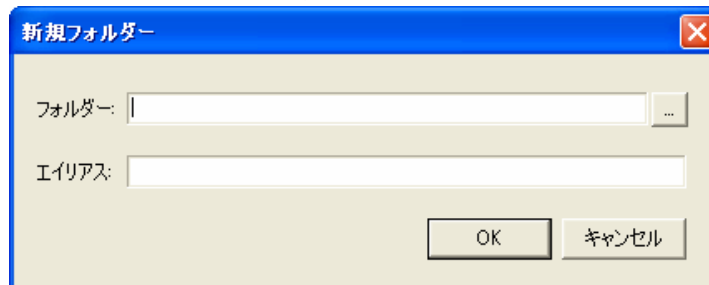
メンバーリストから、選択したユーザーを消去するには  アイコンをクリックします。


全てのメンバーをクリア(全て消去)するには、 アイコンをクリックします。

メンバー リスト内のユーザーの位置を上下に動かすには、以下のアイコンを使用します。上へ移動には  アイコン、下へ移動するには  アイコンをクリックします。


全てのメンバーはあなたのローカルコンピュータの共有フォルダーをアクセスすることができます。デフォルトで新しく登録されたユーザーは、メンバーの持つ共有ホルダーをアクセスする権利を受け継ぎます。


新しい共有フォルダーを追加するには、メンバーリストが表示されているウインドウの下部のウインドウから、 アイコンをクリックします。そして、ローカル コンピュータ上のオリジナルのパスを入力、またはブラウズにより選択し、エイリアス(仮称)を設定します。





フォルダのプロパティを設定するには  アイコンをクリックします。

特定のメンバーのフォルダ リストから選択したフォルダを消去するには、

 アイコンをクリックします。

全てのフォルダ リストを消去(クリア)するには  アイコンをクリックします。



フォルダ リスト内の特定のフォルダを上下に移動するには、以下のアイコンを使用します。フォルダを上へ移動するには

 アイコンを、下へ移動するには  アイコンをクリックします。


NOTE: 接続を確立 チャプターも合わせてご参照下さい。

Anonymous


GetByMail は、FTP で使用される認証とよく似た anonymous 認証のメカニズムをサポートしています。もし、ローカル コンピュータ上で anonymous 認証を許可すれば、登録されたメンバー以外でも、設定した共有フォルダのアクセス権に従って、ローカル コンピュータにアクセスすることができます。


anonymous 認証を可能にするには、Anonymous ボタンを選択します。そして anonymous 認証を有効にするには  アイコンを、anonymous 認証を無効にするには  アイコンをクリックします。



Anonymous 認証でアクセスするユーザーは、ディレクトリ変更とダウンロード の 2 種類のコマンドを実行する権利を持つことができます。コマンドの実行権の許可、取消の編集は該当するチェックボックスをチェックまたは非チェックします。

Anonymous ユーザーは、あなたのローカル コンピュータ上のパブリック フォルダへのアクセスが可能になります。パブリック フォルダの追加は、anonymous 認証を有効にした上で、anonymous フォルダ リスト上の  アイコンをクリックします。そして、新しいフォルダを入力またはブラウズにより選択し、必要があればエイリアス(仮称)を入力します。

フォルダのプロパティを編集  アイコンをクリックします。


anonymous フォルダ リストからフォルダを消去するには、フォルダを選択し  アイコンをクリックします。


全てのフォルダをリストから消去するには  アイコンをクリックします。


フォルダを上下に移動するには、以下のアイコンを使用します。移動するフォルダを選択し、上へ移動するには、 アイコンを、下へ移動するには、 アイコンをクリックします。



NOTE: 接続の確立 チャプターもご参照下さい。


除外ユーザー

もしあなたが選択したメンバーから一旦 除外したいが、メンバー リストからは削除したくないユーザーは、除外ボタンをクリックした、除外ユーザーのリストへ移動することができます。メンバーリストから、メンバーを選択して、 アイコンをクリックします。これで選択されたユーザーは、除外ユーザーのリストへ移動されます。(除外ボタンをクリックして、除外ユーザーのリストを確認することができます。)

除外ユーザーのリストからユーザーを消去するには、除外ユーザーのリストからユーザーを選択して  アイコンをクリックします。

全てのユーザーを除外ユーザーのリストから消去するには、 アイコンをクリックします。


特定のユーザーを除外 ユーザー リスト中で上下に移動する場合は以下のアイコンを使用します。ユーザーを選択し、そのユーザーを上へ移動する場合は、 アイコンを、下へ移動する場合は、 アイコンをクリックします。


除外ユーザーを元のメンバーリスト内へ戻す場合は、ユーザーを選択し、 アイコンを選択します。

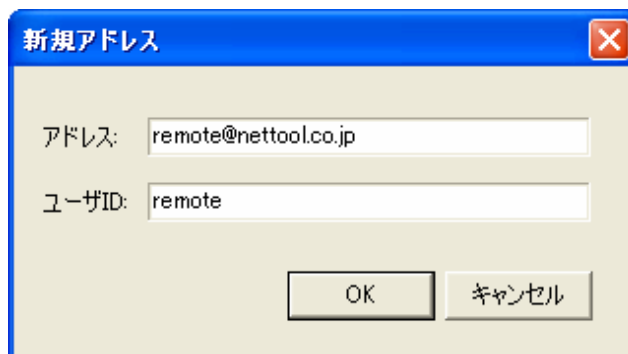
NOTE: もし、リモート ユーザーが除外されている時にコマンドが発行された場合、GetByMail は、エラーメッセージを送り返します。

アドレス帳

アドレス帳には、リモートコンピュータの Email アドレスとあなたのホームコンピュータのユーザー ID を保存します。

アドレス帳を開くには、ツール メニュー->アドレス帳 を選択するか、または以下のアイコンをクリックします。

新規 リモート コンピュータ の Email アドレスの追加は、以下のアイコンをクリックします。 そしてリモート コンピュータの Email アドレスと適当なホームコンピュータのユーザー ID を入力します。



新規アドレス

アドレス: remote@nettool.co.jp

ユーザID: remote

OK キャンセル

リモート コンピュータの Email アドレス、プロパティの変更は、以下のアイコンをクリックします。





リモート コンピュータの Email アドレスをアドレス帳から削除するには、以下のアイコンをクリックします。

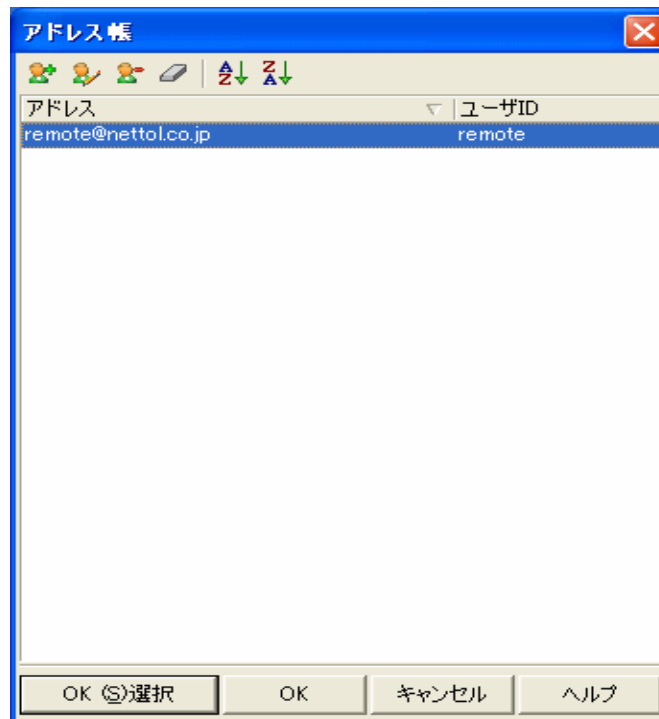


アドレス帳内の全てのアドレスを削除するには、以下のアイコンをクリックします。

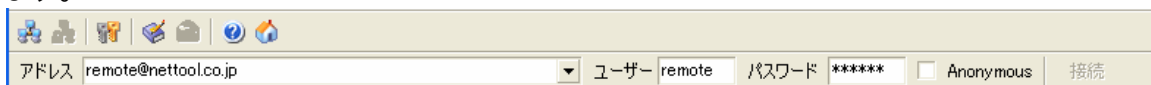


アドレス帳内のアドレスを並べ替えるには以下のアイコンを使用します。昇順は  ボタンを、降順は  ボタンをクリックします。

アドレス帳内の変更を保存するには OK ボタンを、変更を保存して、リモート コンピュータの Email アドレスを選択する場合は、OK & 選択 ボタンを選択します。




この場合、選択されたアドレスとユーザー ID は以下のように、それぞれのフィールドに表示されます。

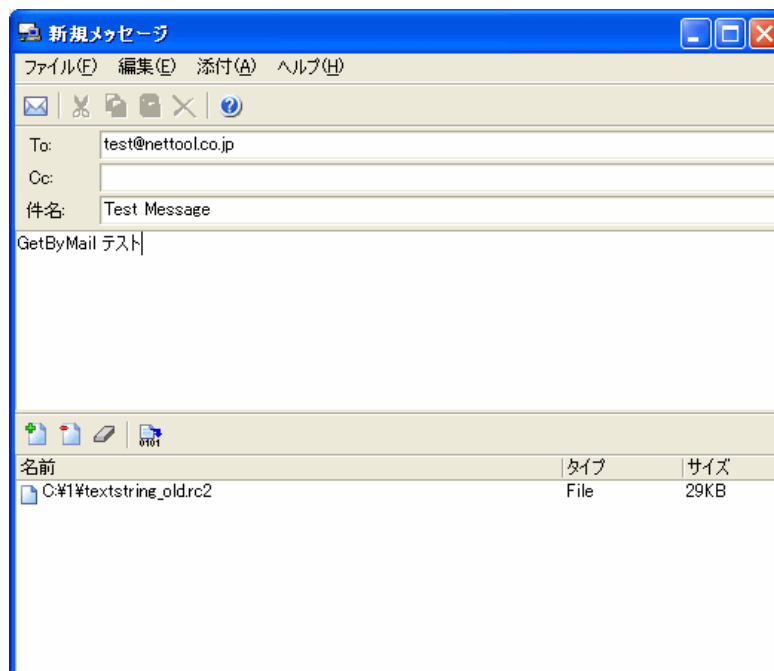



メール クライアント


メール クライアント機能は、自動的に圧縮されたファイルを添付したテキスト メッセージを送信します。


新たなメッセージの作成は、ツール メニュー → メール クライアント を、または  アイコンをクリックします。


以下のようなダイアログが表示されます。これはスタンダード Email メッセージで、宛先、CC、件名、テキスト フィールドで構成されています。

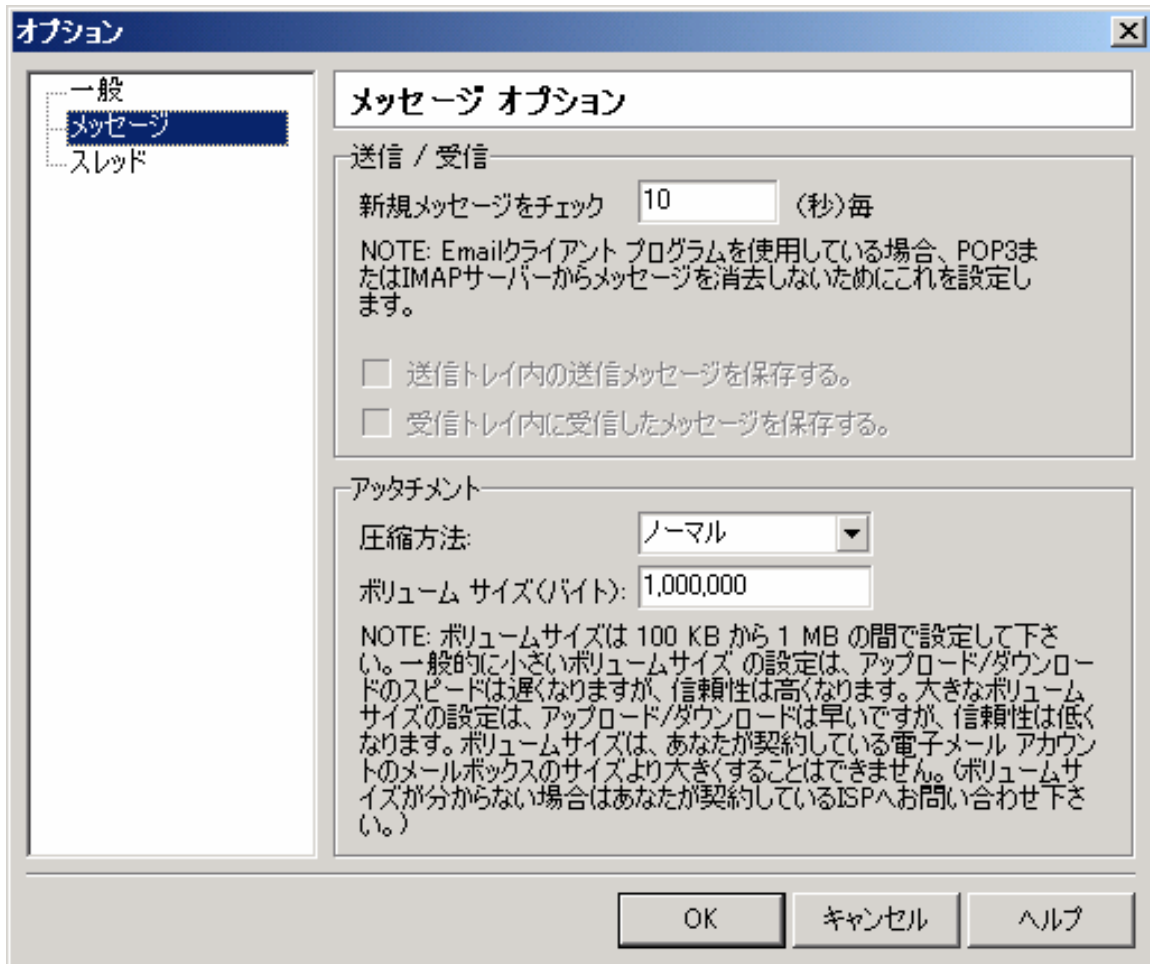



メッセージに添付するファイルは、ファイルを選択し  アイコンを選択します。

添付ファイルから選択したファイルの削除は、ファイルを選択して 

全ての添付ファイルを消去する場合は  アイコンを選択します。

添付ファイル リストから全てのファイルを ZIP フォーマットに圧縮してからメッセージへ添付されます。ZIP ファイル サイズと圧縮レートの見積りは、  アイコンをクリックして下さい。圧縮オプションを編集するには、ツール メニュー → オプション → メッセージ を選択し、以下のダイアログから編集することができます。



作成したメッセージを送信するには、ファイル メニュー → 送信を選択、または  ボタンをクリックします。

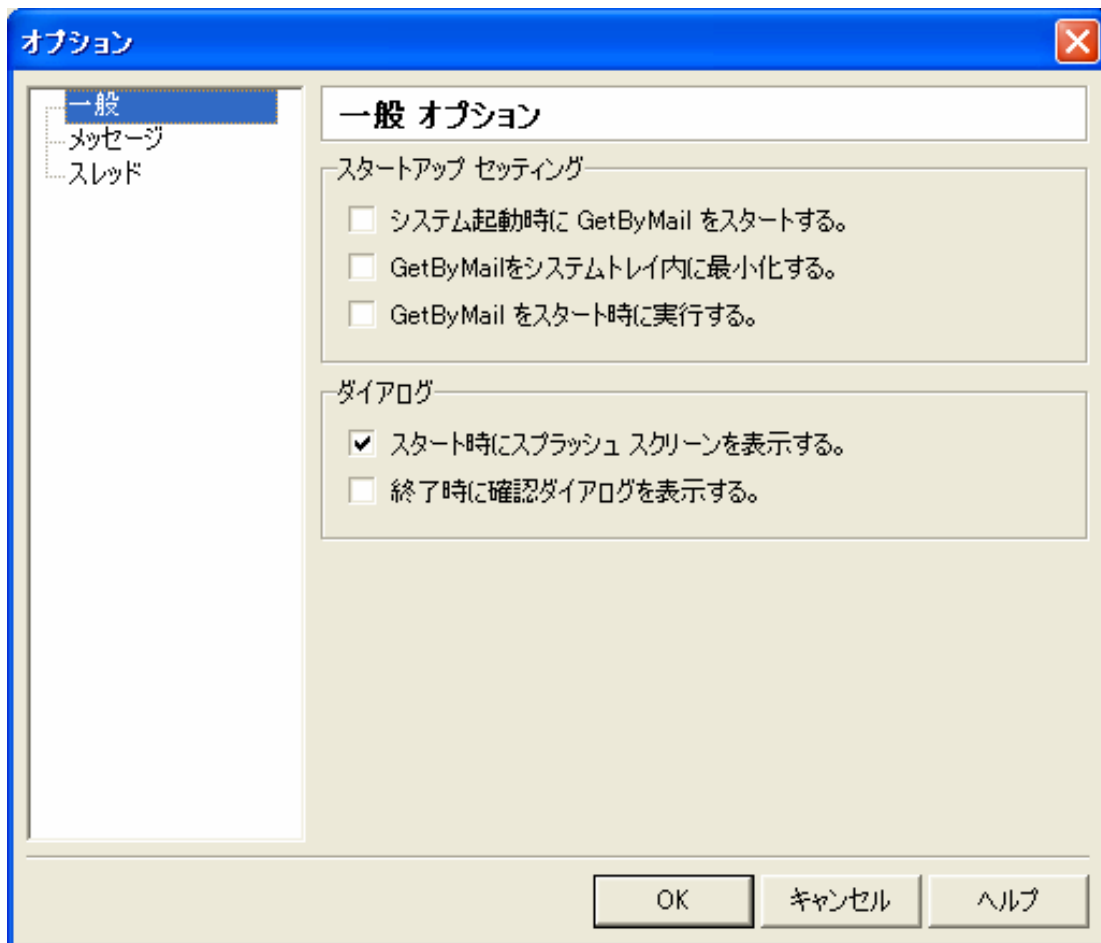
メールを作成するダイアログを終了するには、ファイル メニュー → 終了 を選択します。

オプション

オプションは、プログラムの実行に関する一般的なセッティングを指定します。

一般的オプション

本オプションでは、プログラム起動時、および ダイアログのオプションを指定できます。

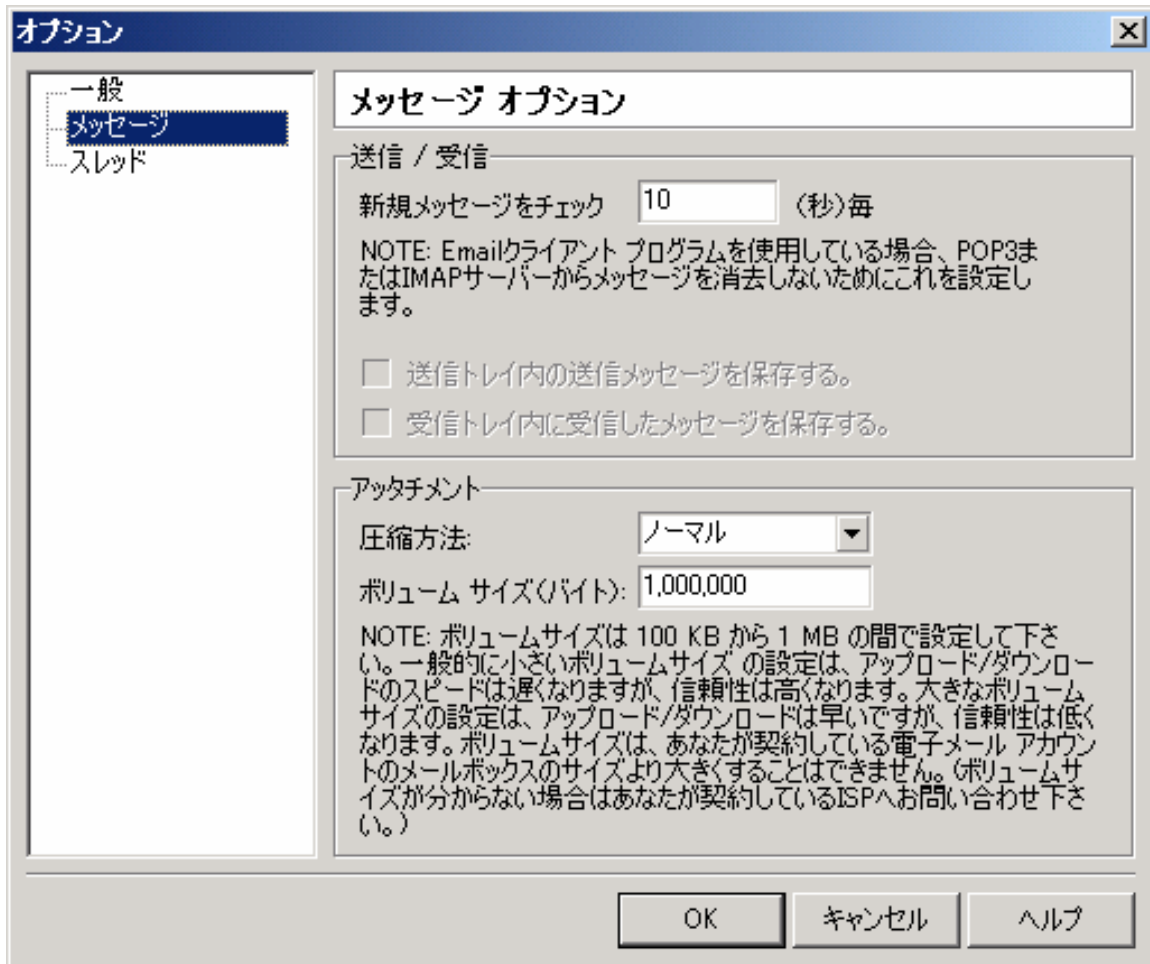


起動時のオプションには、以下の3つのオプションが用意されています。必要に応じて、それぞれのオプションのチェックボックスをチェックしてオプションを使用します。システム(PC)の起動時にGetByMailを実行、GetByMailを最小化してシステムトレイ上で実行、GetByMailプログラムを起動時にプログラム実行、を指定します。

さらに、GetByMail 起動時、および 終了時に、それぞれのスプラッシュ スクリーンを表示するオプションを設定します。これは、GetByMail 起動/終了時に、プログラムの起動、終了のサインとなる画面を表示するためのオプションです。

メッセージ オプション

本オプションは、メッセージの送信/受信とアタッチメント オプションに関してオプションを指定できます。



インターネット 電子メール (POP3/IMAP/SMTP) サーバーの場合、GetByMail は、定期的に、あなたの POP3 または IMAP サーバー アカウントに、新しいメッセージの受信の有無をチェックします。デフォルトでは、10 秒毎 (最短間隔) に新しいメッセージをチェックします。本間隔は、短いほど、GetByMail のパフォーマンスを高めます。本間隔の編集は、GetByMail のパフォーマンスに影響を与えることを忘れないで下さい。

NOTE: GetByMail を使用している間は、あなたの Email プログラム (Microsoft Outlook Express, Eudora...) はご使用にならないことをご推奨します。GetByMail は、ホスト (ローカル) とリモート間の処理のやり取り (正しく処理が実行できたかどうかのチェック) を、あなたのメールアカウントを使用して行っています。もしも GetByMail を使用中にあなたの Email プログラムを使用する場合は、POP3 または IMAP サーバーから、メールが削除されないように設定されることをご推奨します。 < Outlook Express の場合、ツール メニュー --> アカウント --> (メールアカウント) を選択してアカウントをダブルクリックします。 --> 詳細設定 タブ --> 配信欄のサーバーにメッセージのコピーを置く をチェックします。 >

Microsoft Exchange サーバー メールをご使用の場合は、GetByMail は、あなたの受信メールボックスに新しいメッセージの有無のチェックを適当なタイミングで実行し続けます。チェック間隔の設定は必要ありません。もしもあなたが GetByMail のリクエスト/レスポンスに関するメッセー

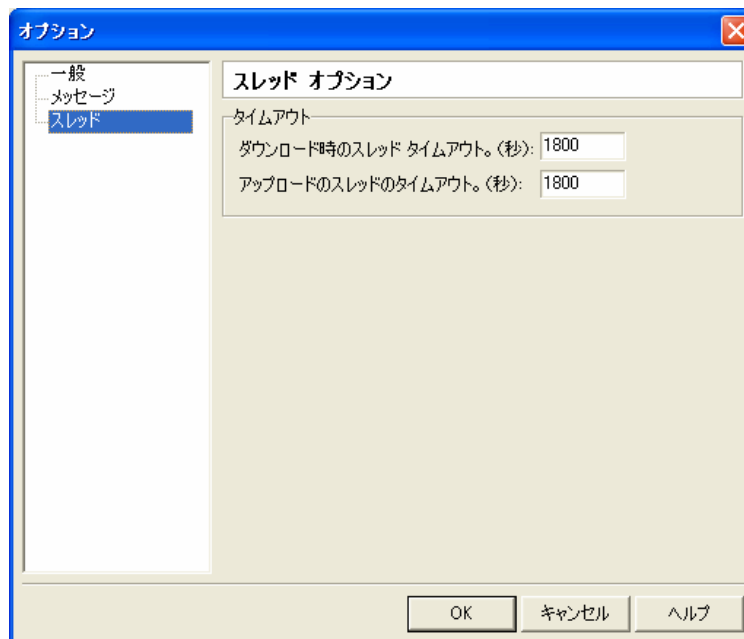
ジを保存したい場合は、サーバーにメッセージのコピーを置く オプションを使用して参照することができます。(アカウントの詳細設定で指定します。)

電子メールに添付したファイルのダウンロード/アップロード処理中、GetByMail は、パフォーマンスの向上のため、自動的にデータの圧縮、分割処理を実行します。あなたは、このデフォルト設定を変更することができます。(ボリュームサイズの単位は、バイト)

NOTE: 添付ファイルのボリュームサイズは、100KB から、1MB までのサイズを指定することができます。一般的に、本サイズを小さくすると、パフォーマンスは下がりますが、信頼性は向上し、サイズを大きくすると、転送速度は向上しますが、信頼性が減少します。ボリュームサイズは、あなたの Email アカウントの添付ファイルサイズを超えるサイズの指定はできません。(最大サイズが分からない場合は、あなたが契約している ISP にご確認下さい。)

スレッド オプション

本オプションは、実行するダウンロード/アップロードのタイムアウトの時間を設定します。



GetByMail のダウンロード/アップロード スレッドは、通常、処理が完了しなくても、指定したタイムアウト時間を過ぎる処理を終了します。本オプションはそのタイムアウト時間を指定します。(時間の単位は、秒)

NOTE: 最小のタイムアウト時間は、360(秒)です。

その他

編集メニュー

メニュー	説明
アンドゥ	編集フィールドで最後に実行したアクションを無効にして元に戻します。(本メニューは動作不可能な場合もあります。)
切り取り	選択したテキスト部分をクリップボードへ切り取ります。
コピー	選択されたテキストをクリップボードへコピーします。
貼り付け	クリップボードへコピーした内容をカーソル位置へコピーして貼り付けます。
削除	編集フィールドから選択したテキストをクリア、削除します。

ビュー メニュー

メニュー	説明
スクリーン ビュー	リモート コンピュータ スクリーンを表示、非表示します。スクリーンコマンド実行時、自動的に起動します。
ローカル ツリー	ローカル コンピュータのディレクトリー ツリー を表示、非表示します。ツリーコマンド実行時、自動的に起動します。
リモート ツリー	リモート コンピュータのディレクトリー ツリー を表示、非表示します。ツリーコマンド実行時、自動的に起動します。
クライアント スレッド	クライアント スレッド パネルの表示、非表示
サーバー スレッド	サーバー スレッド パネルの表示、非表示

ヘルプ メニュー

メニュー	説明
GetByMail ヘルプ	ダイアログボックス内にプログラムに関するヘルプを表示します。
GetByMail Home Page	GetByMail のホームページへリンクします。
About	GetByMail のホームページへリンクします。

その他の情報もご参照下さい。

ライセンス

使用許諾契約書(End User License Agreement)

使用許諾契約書

本契約書はネットツール株式会社(以下甲という)が本契約書と共に提供するソフトウェア製品に関し、ご使用頂くお客様(以下乙という)に対して、下記条件に基づき、非独占的かつ譲渡不可能となる使用権のみ許諾するものとする。

第1条 定義

甲が本契約書と共に提供するソフトウェア製品(以下本ソフトウェア製品という)とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムや事例データとそれらに関するマニュアル等をいい、甲が指定する特定のサービスを通じて提供する可能性のある本ソフトウェア製品の改良版を含む。本ソフトウェア製品を含むパッケージ全体を以下本製品という。

第2条 許諾する使用条件

(2-1) 乙は本ソフトウェア製品の全部または一部をコンピュータにインストールし、本製品が規定する利用者数(利用コンピュータ数)の範囲内で同時に本ソフトウェア製品を使用することができる。

(2-2) 本製品に含まれる全てのプログラム、事例データ等にかかる一切の権利は、本ソフトウェアの製品開発元である甲(または甲との製品開発提携先)に帰属し、その記録媒体の所有権は乙に所属するものとする。

第3条 禁止事項

(3-1) 乙は本製品を複製をしてはならない。(3-2) 乙は第三者に対し、本ソフトウェア製品の全部またはその一部を販売、貸与、譲渡、通信による転送等をしてはならない。

(3-3) 乙は本製品の全部またはその一部を自らまたは第三者を使って、改変、リバースエンジニアリング、翻訳等をしてはならない。

(3-4) 乙は本製品に表示されているまたは本ソフトウェア製品動作時に表示される著作権表示、商標登録等を除去したり、視認困難にしてはならない。

(3-5) 乙は本製品を日本国内において適切な動作環境(本マニュアルに記載された動作環境)で使用するものとする。

第4条 保証範囲および責任

(4-1) 甲は、乙が本製品購入後30日以内に、購入時期を確認できる書類等を甲に提示したうえで本ソフトウェア製品の物理的欠陥を理由に要求した場合に限り、同一仕様の本製品と無償で交換するものとする。但し、交換の理由となる物理的欠陥は本ソフトウェア製品の通常の使用状態で発生したものに限る。

(4-2) 乙が前項但書に定める期間内に当該請求をしなかった場合、乙は、本ソフトウェア製品が正常に作動する事を確認したものとする。

(4-3) 甲は本製品の機能、性能および品質が乙の特定目的に適合することを保証しないものとする。

(4-4) 本条第一項に定める場合を除き、甲は乙が本製品を使用した結果被ったいかなる損害についても保証はしないものとする。また、甲が本製品について責任を負ういかなる場合においても、甲の責任は乙が本製品の購入代金として支払った金額、または甲が設定した製

品希望小売価格を超えないものとする。。

(4-5) 乙は甲が本製品を購入した後の、本製品の物理的紛失、盗難、事故、災害、誤用による破損等に対する保証は負わないものとする。

第五条 本契約の終了

(5-1) 乙は乙の購入した本製品を破棄することにより本契約をいつでも解除することができる。

(5-2) 甲は、乙が本契約のいずれかの条項に違反していると判断した場合、乙への事前の通知なしに本契約を終了させることができる。乙は甲より本契約終了の通知を受けた場合、直ちに乙の購入した本製品を自らの負担で破棄するものとし、破棄の事実を文書で甲に通知するものとする。

(5-3) 前項の規定は、甲の乙に対する損害賠償請求を妨げるものではない。

(5-4) 本契約終了後、甲は乙へ購入代金等、一切の返金を行わないものとする。

第6条 一般条件

(6-1) 本契約は、本製品パッケージを開封、または本パッケージ内のプログラムを実行した時から効力を発揮するものとする。

(6-2) 本契約は、甲と乙とが同意し著名捺印した覚書によってその内容を変更することができる。

(6-3) 本契約の一部が法律に適合しなくなった場合にはその部分を本契約から除外する。但し、残りの条項の効力は何ら影響を受けないものとする。

本[ソフトウェア使用許諾契約書]に関するお問い合わせ先

ネットツール株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町 2-15-23 新日本ビル

TEL:(0427) 26 - 2883 FAX: (0427) 26 - 5303

Email: info@nettool.co.jp

Copyright 2005 GetByMail,Inc. All rights reserved.

本ソフトウェアに含まれる全て（コンピュータ・プログラム、事例データ、それらに関するマニュアル等）の著作権は、GetByMail,Inc. / ネットツール株式会社に帰属します。

GetByMail は GetByMail,Inc.、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページ

GetByMail に関する最新の情報の入手、ご確認は弊社ホームページをご参照下さい。:

<http://www.nettool.co.jp/products/gbm.html>

テクニカルサポート

GetByMail に関するお問合せは以下までご連絡下さい。

GetByMail に関するお問合せは以下までご連絡下さい。

ネットツール株式会社: [Email: inq@nettool.co.jp](mailto:inq@nettool.co.jp)

194-0023 東京都町田市旭町 2-15-23

Tel: 042-726-2883 Fax: 042-726-5303

著作権情報

本プログラムは日本およびその他の国における著作権法によって保護されています。使用許諾契約書をご参照下さい。

This program is protected by copyright law and international treaties as described in the EULA. All Rights Reserved.

Microsoft Exchange Server, Microsoft Outlook, Microsoft Outlook Express, Microsoft Notepad, Windows 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。